

「開講式」

日時：平成 18 年 2 月 23 日 13:30～16:30

会場：八王子エルシィ

出席者：サロン会員 78 名 プロバス会員 63 名

来賓：八王子市教育委員会

教育長 石川 和昭氏

東京八王子南ロータリークラブ

副会長 広瀬 武彦氏

プロバス委員長 遠藤 博氏

開講式は、地域奉仕委員会永井昌平委員長の司会で定刻に開会した。

先ず、大野聖二会長の挨拶：皆さまお久しぶりでございます。今年も生涯学習サロンにご参加下さいまして、誠に有難うございます。思い起こすと今から 10 年前第 1 回のサロンに挨拶を申し上げた折には、まさか第 10 回で挨拶できるとは、夢にも思っておりませんでした。最初からご参加くださっている方も多くいらっしゃいます。朝日新聞に当サロンの紹介もあり、より多くの方のご参加を戴きましてさらに充実したサロンが展開されるのではないかと考えております。今回の特徴は、趣味のサークル活動のクラブごとにサロンを持って戴いたことであります。また、学園都市八王子を想い“魅力ある学園都市づくりにむけて”のパネルディスカッションなど新しい趣向で開催しますので是非ご期待いただきたいと思います。

次に、司会からご来賓の方々の紹介があり、ご来賓を代表して八王子市石川教育長、東京八王子南ロータリークラブ広瀬副会長よりお言葉を頂戴しました。

【特別講話】

『宇宙開発 - 夢と現実 - 』

講師： 近畿大学教授 河島 信樹

司会： 永井 昌平

講師紹介： NASA ゴダードセンター客員研究員、ヨーロッパ宇宙科学研究所客員研究員、スタンフォード大学客員教授、文部科学省宇宙科学研究所(旧東大宇宙研)教授を経て現在近畿大学教授。

著書：宇宙・プラズマ・核融合、SPACE ATLAS、火星探検、分割睡眠法など。

最近、わが国では宇宙開発事業が順調に進み、この一ヶ月の間に赤外線観測天文衛星「あかり」、立体映像を得る観測衛星「だいち」の打ち上げに成功した。人工衛星は打ち上げに成功して終わりではなく、一応第一段階をクリアしたことである。

宇宙開発事業は米ソ冷戦の時代に開始されて40年以上にもなる。先ず1957年ソ連のスプートニク：ライカ犬が地球を周ったというニュースから始まった。アメリカ国民にとっては大変衝撃的で屈辱であった。米ソ対立の折だったので、大陸間弾道弾競争開発に負けたことを世界に示されたからである。ケネディ大統領が国の威信をかけたアポロ計画は1969年月面有人着陸に成功し、これでアメリカは世界一の技術大国の地位を確保した。この頃が宇宙開発の華やかな時代であった。

アメリカはアポロ事業に大変多くのお金を使い、これではいけないと思って始まったのがスペースシャトルである。これには経費節減と国際協力(冷戦時代でアメリカ、カナダ、ヨーロッパなどが中心)という二つの目的があり、その10年後に成功した。しかし経費節減の目的は達成されなかった。その後、1986年チャレンジャー事故で7人の宇宙飛行士が死亡。もう直ぐ誰もが宇宙に行けるものと思っていたその宇宙が大変遠のいた。さらには1990年位にできるはずの宇宙ステーション“Freedom”が大変難航した。ほとんど潰れそうになっていたその宇宙ステーションは、ソ連の崩壊で突如として生き返った。それは旧ソ連圏の科学者の失職、核兵器技術の持ち出しを取り留めなければならなかったからである(今問題のイラク、イラン、パキスタン、インドなどに流出)。そこでアメリカ、ヨーロッパ、日本及びカナダで始まったこの国際協力でロシアも加わり、ロシアの有能な使い捨てロケットを活用して再開したのである。現在この宇宙ステーションを基地として宇宙でしかできない無重力環境を使ったビジネスができないか、更にはここを基点とする火星探検はできないかなど模索中ということは、目標達成の必然性を持たない宇宙開発の様相を物語っているものである。一方わが国では、日本モジュール「きぼう」この計画を始めてから20年経っている。国費が3千億円位使われ、有効に活用されればそれなりの価値がある筈である。しかし日本の宇宙開発は2000年までは非常に順調であったが、最近数年の間にH2A失敗、宇宙研のロケットの失敗が続いて大変厳しい状態になった。日本のロケットは値段が高く価格競争に勝てず、打ち上げ回数も減る悪循環を繰り返し、宇宙開発においては世界の主導権はなかなか取れない状況でもある。まさに世界的にも冬の時代を迎えたのである。

宇宙開発に使っている費用は、3千億円位、国民一人当たり3千円であるから未だ産業になっていない。大きな産業のような印象をもたれる宇宙開発をイメージ産業というのである。イメージ産業的な例としては、東大阪の某パルプメーカーにNASA指定のレッテルが付くと製品が一挙に売れたことや、バブルの頃に企業があまり関係のない宇宙開発室を作って若い優秀な技術者を呼び集めたことなどが挙げられる。

宇宙開発はハイテクか？ 打ち上げられた宇宙機器は一つの部品が壊れてもシステムのために個所が沢山あり、修理が困難でもある。したがってシステムの信頼性と確実性をもった技術でなければならない。故に宇宙開発はハイテクといえるのである。宇宙開発の仕事はきちんと 100%やらないと失敗である。宇宙開発というものは、1 + 1はいくら足しても 1、10 の仕事をきちんとやらなければいけない。また欠陥があった場合でも隠すことなく正直であることが大変大切なことである。

21 世紀の宇宙開発の一番大きな目標、それは火星に人間が行くことであり、しかも一番乗りをすることに価値がある。しかし、火星の有人探索は大変難しいことばかりである。これに国民の賛同が得られるかどうかなどの多くの課題が考えられる。また、南極はアムンゼンが南極に行ったらパタット止まって 40 年間、月もアポロ計画成功以降、月に何か価値がないとなかなかその後続いていないというこれまでの経緯がある。

1996 年南極で発見された火星の隕石から生命の痕跡があるのではないかと一時フィーバーになったことがある。しかしアメリカなどの探索により、火星は地球より小さい割にはアメリカ大陸を横断するほどの峡谷や遥かに高い山がある。大気は地球の百分の一でそれも炭酸ガス、温度も 0 以下で寒く、よく砂嵐が起こる。このように火星の無人探索が進むにつれて火星から生命の話は消えたのである。

資源をもたない日本の将来は、やはり科学技術で生きていくことである。科学技術で世界をリードしていかなければいけない。このことに対して日本の国民の賛同がなかなか得られない。このような体質を持っている国民の意識を改めることも必要ではないかと思う。科学技術もオリンピックのように国民が夢をもつ、そのような宇宙開発にしていかなければいけない。これからは宇宙ビジネスとしても成り立っていかなければいけない。ビジネスになりうる一つは宇宙旅行である。さらには宇宙開発を発展させる可能性を秘めた小型衛星を用いたマスコミでも話題になっている宇宙ビジネスである。これには日本をはじめ世界各国で数億で打ち上げ可能なプロジェクトが沢山できている。しかし何に使うかという目的を見出せず滞っている状況である。

河島先生の今考えている極めてユニークな “人工衛星を使ったアトラクション” (特許取得) のお話を後に特別講話は盛会裡に終了した。

質疑応答から

Q 1 もし宇宙旅行に行くとなれば、無重力をどうクリアするのか。

A : 短期間の場合は問題ないが、長期間の無重力状態はありえない。宇宙ステーションホテルで働く人たちの方が問題である。最低 3 年かかる火星への旅は、現時点では無理がある。

Q 2 宇宙の無重力環境を利用して人類にとって有益なことがあるのか。

A : 宇宙ステーションの主たる実験は無重力環境を利用して行われている。何か新しいものを造るというビジネスは今のところ全くない。

Q 3 レーザー光からエネルギーをもらって飛ぶカイトプレーン (小型飛行機) とは？

A : 月の極には氷が存在し、その場所は - 200 度、このような場所の無人探索用に開発された小型飛行機である。これは太陽のレーザー光をエネルギーに変換して、そのエネルギーを利用して小型飛行機を長時間飛ばすものである。報道関係で地震、水害等の災害中継に利用を期待している。

Q 4 宇宙開発技術を地球温暖化対策に活用できないか。

A : 物理的には、経費が掛かりすぎて難しいと思う。温暖化起因物質の炭酸ガスを分解する少量の触媒 (化学反応促進剤) を発見して、それを成層圏に散布することも現実的に困難である。

(記録 阿部 和也)

『日本の蝶 あれこれ』

話をする人：中嶋 正人

司 会 者：武田洋一郎

話をする人：NEC退職後、道楽人生。昆虫について世の理解促進を図りたいと考えている。

趣味：蝶の観察、低山歩きなど

所属：日本鱗翅学会会員、日本蝶類学会会員、日本昆虫協会会員

社会人になってから、子供の頃、夏休みの宿題で蝶を採集したことを思い出し、あの感動を再びと、休日を使って山野に出かけるようになった。この10数年、蝶の写真を撮影しながら、小さな生き物の「命のふしぎ」に驚き感動する日々をすごしている。

1. 蝶とは

(1) 生物分類 節足動物門 昆虫綱 鱗翅目 アゲハチョウ科など8科...蝶、 スズメガ科など57科...蛾

(2) 日本の蝶 8科約250種(蛾は数千種)

(3) 蝶と蛾の違い 基本は次のとおり。例外あり(自然界には明確な線引きはない。分類は人間の理解をしやすくする便宜上の手立て)。

蝶...昼間活動 視覚が発達 色彩発達、薄い毛

蛾...夜間活動 嗅覚が発達、体温を保つため多毛

(4) 蝶の生態 完全変態(卵 幼虫 蛹 成虫)

ポイントは幼虫時代(成長期)のすごしかた...食草・食樹(大変な偏食家)、次に、冬をどう凌ぐか。実に多様な戦略が、種ごとに、本能として遺伝子に組み込まれている。

昆虫のゴキブリは3億年前に生まれ、顕花植物は1億3千年前、蝶はこのころ出揃ったと推定。恐竜は64百万年前。現代人の祖先は1百万~2百万年前に現れた。蝶は人よりはるかに生命の歴史が長い

2. 蝶あれこれ ...話の前に蝶の絵を描いてみてください。

(1) 生きている蝶と標本 キアゲハの写真で、前翅の下端が、左右の翅が直線になるまで開いて、左右の後翅がお腹から離れている、これは標本の形。いわば干物。干物が飛んでいる絵が横行していて不自然。生きている蝶はもっと自然な姿をしていて、止まったとき前翅は垂れ下がり、後翅はお腹についている。翅を開かない蝶もいる。自然の姿でみると、イシガケチョウの翅には昆虫の姿が見え、その生存戦略が見えてくる。

(2) 年1化の蝶 春だけに姿をみせる蝶 ギフチョウ(桜の開花期に出て1か月ほどで消える。藤野町石砂山)、コツバメ、ウスバシロチョウ(丹沢高尾山)など。夏に出てくる蝶 ヒオドシチョウ、オオムラサキ(長野長坂町)など。

(3) 年2~数化の蝶 サカハチョウ、トラフシジミ、キタテハ、

(4) 成虫で越冬する蝶、

(5) 越冬できないが北上してくる蝶、

(6) 生息域をひろげている蝶、(温暖化の影響よりも人為的環境変化によるもの)

(7) 羽の色が角度によって見えたり変わったりする蝶、(8) そっくりだけど違う蝶、(9) オスとメスとで模様や色の違う蝶、(10) 目玉模様作戦の蝶、(11) ジェット機軍団セセリチョウ、(12) そのほか話題

の蝶、アサギマダラ...最近の研究で解ってきたことは、台湾、沖縄で生まれた蝶が本土へ飛んできて東北地方まで行き、秋にはその逆のコ - スを飛ぶ。それはこの蝶の一部で、高尾山などで生まれ越冬するものもある。

.....さまざまな蝶の姿をご自身で撮影した多数のスライド写真を使って説明された。

終わりに「子供が昆虫を採集することに、目くじら立てないでください」と云い「人間が採集するぐらいで蝶は絶滅しない」という。むしろ虫たちにとってもっとも怖いのは、「土地開発（ゴルフ場開発など）農薬類の空中からの散布（一網打尽）草刈、落ち葉掃除などで、人間の都合で生息地を奪われ、絶滅に追いやられること」。

最近すべての公立の公園で昆虫採取を禁止する法律が出来ようとしている。条件付で一部発効しているが、これは実際の自然を知らない、観念的もしくは情緒的な自然保護論で、私はむしろ、虫好きの子供たちを一人でも多く育てたい。そして子供たちには、もっと昆虫に親しみ、自然の不思議、生命のはかなさとしたたかさを実感してもらいたい。そこからこそ、真の動物愛護、生命観、自然観、環境保全の精神が育くまれる。

質問．人間との利害関係は？

答．人間にとって害虫かどうかは、稲やキャベツの葉を食べるとか、果樹の葉を食べるなどあるが、みな幼虫の仕業。でも大被害を及ぼすほどではない。共存する為には、人間の暮らしの領域は駆除も仕方ないが、山の中までは薬剤を撒かないでほしい。相手をよく知れば共存の道はあるはず。

質問．蝶に 20 c mにも接近して撮影する方法は？

答．近づけない蝶は、カメラに接写リングを付け、その後に望遠レンズ（200mm）を付けて写せば1m ぐらい離れていても拡大して撮れる。

（記録 荒 正勝）

『江戸時代の八王子の文化 - 八王子千人同心を中心にして - 』

話をする人：野口 正久

司 会 者：浅川 文夫

話をする人：地方史研究家、八王子千人同心旧交會會長、元八王子市郷土資料館運営協議會會長、八王子市文化財審議委員、八王子市立中学校長會會長

八王子城落城から、この地域の歴史は大きく変化し、江戸時代、八王子の町は経済・産業・文化の中心地として栄えることとなった、と前置きされ、話し手は、詳細な史料・表などにより、次のような要旨の講話をされた。

1．八王子の町の変化

歴史的な経過を見ると、天正 18 年八王子城廃城後、徳川氏の関東入国、慶長 8 年徳川家康公が征夷大將軍に任ぜられ、江戸幕府を開き、新しい時代を迎え、八王子地域は、様々な変遷を迎えた。

第 1 期、八王子城落城により、徳川氏が関東入国を果し、江戸の重要地点として、新たな町作りと「小人組」後の千人同心を移住させ武家屋敷を設置し、武備の町とし発足させた。

第 2 期、徳川氏が江戸に幕府を開き、千人同心が成立（慶長 5 年）八王子の地は関東代官の大久保長安の陣屋が置かれ、関東民政の中心地となり、続いて関東 18 代官の集住地として、関東民政の中心地として行政の町の様相を呈した。

ゲンナエンブ

第 3 期、その後江戸に幕府を開いた家康公は「元和堰武」（元和年代に戦を止めて平和な世）を令し、世は泰平に向い、八王子地区も、元禄時代には三宿から十五宿と宿が増加し、周辺農家も茶栽培、養蚕・織物産物と農業型が変化し、享保時代以降さらに商工業の中心地として発展し、大きく変化していった。

2．千人同心の文化活動の活発化の要因

天明・寛政時代、幕府は天明の飢饉、ロシアの南下に危機を感じ、寛政時代改革を行ない、文武の奨励を計った。千人同心を中心に、八王子地域は次第に文化の芽が育ち、中心地となっていく。その理由について三つあげると、第 1 には、幕府は寛政の改革により、昌平坂学問所を広く解放し、旗本御家人の直臣、陪臣及び学問に情熱ある人々に入校を促し、直臣を自覚する多くの千人同心も入校した。第 2 には、寛政 12 年 3 月の北海道苦小牧や白糖への移住は、千人同心の中に対外危機感を生んだ。第 3 に、千人同心の血縁関係、名主との関係が深まり、経済力のある農民の由緒番代など、また有力農民を知行主が雇用などによる農民の地位向上等の要因があったと考えられる。

このようにして、千人同心を中心に地域文化の活動が盛んになっていくのであった。

3．千人同心の文化への関心、実践への高揚

上記の要因は、別表によるように、昌平坂学問所への入校希望者を育成する機会や組織が出来た。拝領屋敷では千人頭邸の月番所で、論語・蒙求の講義が定例実施されることになり、組頭等は学習塾を設置し、在村同心達も、地域にあって私塾・寺子屋を開設したことが記録によって知れるのである。

また、日光にも千人同心によって講堂が設立され、勤番中の同心は勿論、勤番地の日光二社一寺に関係する人々、地域の人々と共に学習する機会が生まれた。

4. 千人同心の文化活動

文化7年、昌平坂学問所林述斎は、幕府に「地誌編纂」を建議して、新編武蔵国風土記稿の編纂が始められた。八王子千人同心の原半左衛門胤敦は幕命を受け、千人同心組頭塩野適斎・植田孟縉その他数人の同心により多摩郡40巻、高麗郡10巻、秩父郡20巻を文政5年～7年に完成して昌平坂学問所に納め、大業を完成させた。尚塩野適斎は新編相模風土記稿編纂にも参画した。

幕末国学が興隆する中、八王子地域にも国学を学ぶ人々も少なくなき、府中大国魂神社猿渡宮司の編した和歌集「類題新竹集」には千人頭石坂弥次右衛門義禮を始め千人頭・同心の収録者も数人みられる。

洋学は蘭方医を兼ねる千人同心家の人々によって広められた。秋山義方、佐蔵は医書を翻訳出版した。義方は多くの洋学関係者との交流があり、多くの足跡を残した。また、同心組頭の松本斗機蔵は、「猷芹微衷」を書き、海防の方策を水戸斉昭公に呈し、また、モリソン号来航に際し「上書」を認め建策し、渡辺華山の「慎機論」、高野長英の「夢物語」と共に世に賞揚された。

文芸も興隆し、塩野適斎の「桑都日記」、植田孟縉の「武蔵名勝図会」「日光山志」、その他川本衝山の「于役唸草」「狭中遊草」等の漢詞文の本を出版し、俳句について「雑花怪石集」を編纂した。

野沢笑溪は狂歌をよくし、江戸の文人にも高く賞されていた唸唸。

俳諧は、農村に満ち満ち、各所で句会が催され、所々の神社・仏閣には、連額が残された。

石川日記には「心学に行く」と記され、石田梅巖による「心学」が広く伝えられ、小比企村の磯間良甫によって国音教論「実能名留樹」が出版され、地域に広く広まっていたことが知れる。

このように八王子地域の文化は、千人同心の活動により、多くの文人墨客をこの地に招き、益々交流を深め、地域文化の興隆を招いていったのである。

以上の講話は、講師持参の古文書・古書籍の一部を読み上げられ、さらに詳細な注釈も加えられつつすすめられたが、まことに充実した講義であった。その後質疑応答も行われ、江戸時代の八王子の文化に関する有意義な学習を終了した。

(記録 浅輪 豊治)

『初歩的な仏像の見方』

話をする人：土井 俊玄

司 会 者：岩岡 茂之

話をする人：曹洞宗興岳寺住職、これまで当サロンで「日本人の宗教観」、「椿」など数回話し手を務めている。

「仏像」といえば、奈良東大寺の大仏、鎌倉の長谷の大仏などを思い浮かべるが、識者といわれる人でも間違える。与謝野晶子の「鎌倉や御仏なれど釈迦牟尼は美男におわす夏木立かな」という釈迦牟尼は間違いであって、鎌倉の大仏は実は阿弥陀如来である。

仏像とは何か？「広義の仏像」とは、仏教に関係のある造像されたもの、あるいは描かれたもの全てを指す。他方「狭義の仏像」とは如来（仏陀）像だけを指す。広義の仏像を分類すると、次の4つに分けられる。

(1) 如来像、(2) 菩薩像、(3) 明王像、(4) 天(神)像

1. 如来像について

インド古語であるパーリ語やサンスクリット語でターガダの漢語で如来というが、その意味は「人格完成者」「全き人」「向上に努めた人」「修行を完成した人」「真理の体現者」「真如(真理)の世界より来たる人」「真理(真如)を体得して、私たち凡夫に教えを説いてくれる仏様」を指す。

(1) 仏教では、釈迦如来以外にも大勢の如来がいる。その理由は大乗仏教の仏陀観に拠るものである。釈尊の死後、釈尊の生死と仏陀の生死は関係ありやなしの議論(佛身論)が起こり、色身佛(肉体佛) = 釈尊その人と、法身佛(真理佛) = 真理そのものを身体とした仏様を分けて考えられるようになり、次々と仏陀(如来)が考えられた。釈迦の前世にも仏陀が存在したはずなので、過去佛(過去七佛)が考えられた。また未来にも再来するに違いないので、未来佛として、56億7000万年後にこの世に現れて、衆生を済度する弥勒仏が考えられた。また仏様は空間的にも無限に存在するはずで、十方世界、つまり四方(東・西・南・北)、四維(東南・南西・西北・北東)、上下に仏様がいて考えられた。

(2) 様々な如来像

釈迦如来、阿弥陀如来、薬師如来、大日如来(毘盧遮那如来)、宝幢如来、開敷華王如来、天鼓雷音如来、不空成就如来、阿闍如来、宝生如来...

2. 菩薩像について

菩薩とは、インドの古語「ボディー・サットバ」「ボディー・サッタ」を漢字の菩提薩埵(ボダイサッタ)にあて、仏道を求める者(求道者)という意味である。その意味からいえば、私も菩薩であるし、皆さんも菩薩様なのです。

(1) 様々な菩薩像

観世音菩薩、地藏菩薩、弥勒菩薩、大勢至菩薩、文殊菩薩、普賢菩薩、日光菩薩、月光菩薩、虚空蔵菩薩...

(2) 菩薩様のうち、観世音菩薩(観音様)は特に親しまれている。そのうち七観音とは、聖観音、十一面観音、千手観音、馬頭観音、如意輪観音、不空罽索観音、准胝観音を指す。

(3) 菩薩様のうち、地藏菩薩は子供たちにとくに親しまれている。勝軍地藏、延命地藏、子育て地藏、子授け地藏、子安地藏、とげぬき地藏、いぼとり地藏、虫歯地藏、汗かき地藏、夜這地藏、鯉地藏、蛸地藏、ば喰い地藏...

3. 明王像について

明王とは簡単に言えば、如来様の使者である。だから顔つきはどこか卑しく、明王はあまり仏様らしくない。体はデブでお腹は出ているし、上半身は裸で、下半身には短裙(たんくん)(裙は「ふんどし」のこと)を着け、ふんどし一丁の姿をしている。髪の毛も奴隷のヘアスタイルであるし、目は左右整わないし、牙を剥いた口なども卑しい姿をしている。明王は如来様の使者であるが、一番下層の使者である。

(1) 種々な明王像

五大明王 = 不動明王、降三世明王、軍荼利明王、大威徳明王、金剛夜叉明王...

(2) 明王像の像容

明王は仏道を守護する怒れる仏様(憤怒の仏様)である。どうして明王は憤怒形をしているのか。それは世の中にはひねくれ者がいるからである。やさしい態度で接していると、それを馬鹿にして一向にいうことを聞かぬものがあったり、あるいは根っからの悪人がいる。そういう人間をそのまま放置しておく、結局彼らは救われぬ。それでは反って仏の慈悲に反することになってしまう。そこで、怖い顔をして相手を威嚇しながら教え導くために憤怒の姿になっている。

(3) 不動明王の性格

仏・菩薩とは、仏教自体が求め出した仏様である。一方、不動明王は仏教自体ではなく、ヒンズー教の中の明王部という名称の中の一尊である。また、明王とは、明(陀羅尼)を唱えて祈った場合に、最も効験が大きい仏様ということの意味する。不動明王は、明王の中心的な尊像(特に信仰が厚い)として位置する。

4. 天(神)像について

天あるいは神と名づけられている仏教の仏様たちは、全てインドのバラモン教(ヒンズー教)やその他の民間信仰の神々が、そのまま仏教に取り入れられ信仰されたものばかりである。仏教が興隆してインドにその教えを広めようとしたときに、バラモン教の信仰が根強くあったために、これらの神々を無視することができなかった。そこで仏教は、これらの神々を否定することなく、寛容な態度で接し、これらの神々を仏教の守護神として扱うようになった。その結果、仏教はインドの民衆の関心を惹きつけることに成功した。また、こういう神々は、密教の曼荼羅の中に数多く描かれているが、密教はヒンズー教の影響を色濃く受けた仏教なので、当たり前といっていいい。

様々な天(神)像

梵天、帝釈天、四天王、執金剛天(仁王) = 金剛力士、八部衆、散脂大将、摩利支天、深沙大将、大黒天、吉祥天、聖天(歡喜天)、宝蔵天女(吉祥天と同じに作られる)、弁才天(弁財天)、水天、技芸天(大自在天女)、風天、訶利帝母(鬼子母神)、伊舎那天、十二神将、火天、地天、焰摩天(閻魔天)、日天、荼吉尼天、月天、羅刹天、韋駄天、魔醯首羅天 = 大自在天

(記録 藤野 豊)

『気軽に手軽に絵手紙を描く』

話をする人： 池田 ときえ

話をする人： 絵手紙花の会講師、絵手紙歴 15 年、八王子を中心に教室活動を展開している。

講師あいさつ

絵手紙は実用です。離れて住む家族への便り、お祝いやお礼、お見舞いにととても喜ばれます。ハガキの隅にちよっと絵があるだけで暖かい雰囲気になり、上手下手にかかわらず一生懸命に描いた気持は必ず相手に伝わります。いろいろな状況に合わせてどうぞ絵手紙を活用して下さい。



用具

家でも気軽に描いていただきたいので、身近にあるボールペン（耐水性）、クレヨン、色鉛筆等を使います。筆・墨・顔彩も用意しました。用紙は吸水性のよい画仙紙はがきです。

画材

身につけている腕時計やアクセサリー、こどものおもちゃ、季節の花チューリップから好きなものを選んで下さい。

実践

講師がボールペン、クレヨン等で実際に描きながら『大きい物ははがきからはみ出して、小さい物はそれなりになるべく実寸で描きましょう』と説明、全員で描き始めます。ボールペンは線が走りがちなのでゆっくり描いてもらいます。次はクレヨンや墨で挑戦、短い時間でしたが、どなたも2枚から5枚は描かれました。

講評

慣れないうちにはがきの枠にとらわれて絵柄が小さくなりますが、それでもドラエモンらしく、チューリップらしく描けました。小さな人形は背中合わせに3体描いてにぎやかに、長い物にはがき2枚組にします（写真左）。彩色は線を消さなければ濃くても薄くてもいいでしょう。ことばは今の気持ちを素直にひとこと。「楽しいね」「むずかしかった」「こんどこそ」いいですね（写真右下）。

描いたらお孫さん宛に投函するという方もいて格別熱が入ります。待っている、喜んでくれる相手がいると励みになって上達します。どなたの絵手紙も個性があり楽しさに溢れていますからこのまま切手を貼って親しい方にお出し下さい。きっと喜んでもらえます。



ティータイム

「絵が苦手です」「字が下手で・・・」「頭で考えるようには書けなかった」「彩色がむずかしい」「いいことばが出てこない」「でも楽しかった」皆さんの感想です。絵手紙歴15年の私も始めの一步はそうでした。拙いながら交流の楽しさに惹かれてここまで続けてきたのです。決まりのないのが絵手紙のいいところ、なあと自己流でいいのです。これを機会に絵手紙を始めて下されば幸いです。

最後に

今回の絵手紙講座は、司会者も置かずお手伝いのプロバス会員を含めて20名、お互いの声と手が届くほどほどの人数でした。描いて笑っておしゃべりしながら和やかなひとときを過ごしました。

上手も下手もご愛嬌。描くのが苦手という方は貼り絵やスタンプを使ってどうぞという講師の実演に惹かれた人もおりました。

絵手紙を出してみよう、遊んでみようという参加者が出そうなサロンとなりました。

(記録 池田ときえ・橋本鋼二)

『「ごみ」リサイクルへの挑戦』

話しをする人： 矢島 一雄

司会者： 鶴田 金通

話し手： 長年に亘り八王子市役所に勤務し、清掃部長在任中、北野清掃工場、戸吹破碎処理施設の建設、またリサイクルシステム化と其の実施に係わる。

八王子市は、環境にやさしい町をモットーに、リサイクルに積極的に取り組み、物質を循環させて利用し、天然資源を大切に、環境負荷の少ない社会を目指している。また平成16年10月には「ごみ」の有料化を実施した。家庭から排出される可燃ごみ、不燃ごみは、初期の目標である前年比25%を大きく上回り32%を達成した。一方、不法投棄によるごみが、前年比40.5%増えるなど、新たな課題が見つかり、其の対策が求められる。

1 廃棄物とは

廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃清法＝ごみの法律）に規定されている。

ごみ、粗大ごみ、燃え殻、汚泥、糞尿、廃油、廃酸、廃アルカリ、動物死体、その他の汚物又は不要物で、固形状又は液状の物をいう。

廃棄物の分類 (1) 産業廃棄物 処理責任は、廃棄物の排出事業者、

(2) 一般廃棄物 処理責任は、市町村： 家庭系廃棄物 日常生活からの排出、 事業系廃棄物 事業活動からの排出（市の指定業者に委託するか自己持込）

2 八王子市のごみ処理状況

(1) 家庭系ごみ及び資源物の排出形態

可燃ごみ～週2回1戸建は各戸の前、集合住宅はごみ集積所

不燃ごみ・有害ごみ～週1回（上記と同じ）

資源ごみ 古紙（新聞・段ボール）～月2回、古紙（雑誌・雑紙）・紙パック、プラスチック・ペットボトル～隔週、空きビン・空き缶～週1回、古着・古布～月1回 いずれも資源物集積所

ペットボトル～拠点回収（スーパー・コンビニ・酒屋等市内246の協力店にある専用回収ボックスに排出）紙パック・白色発泡スチロールトレイ～拠点回収（市役所・各事務所・市民センター等46箇所ある専用回収ボックスに排出）はがき類～拠点回収（年1回指定期間に郵便局に設置する専用ボックス）

粗大ごみ～随時個別収集 事前に担当の清掃事務所へ収集を依頼

(2) 収集状況

年度	H12	H13	H14	H15	H16	説明 H15～16年に9千t減少、特に可燃ごみが、105千t～89千tに減少
収集人口(人)	524,415	529,083	532,619	536,075	541,831	
量(トン)	147,714	146,586	144,297	147,508	139,028	
(g/人、日)	770	759	742	752	698	

* 参考 ごみ排出量の多い都道府県（平成13年度実績、1人、日、排出量）

大阪 1,363g 北海道 1,320g 兵庫 1,299g 京都 1,253g 青森 1,227g 東京 1,205g、
上記数字に対応する八王子市の排出量は 1,009g/人、日

3 焼却の状況

焼却実績と焼却残渣

4 清掃工場（戸吹、館、北野、多摩）の焼却量は 159 千トン（H16 年）、焼却残渣発生量は 7.9% の 13 千トン弱。戸吹の残渣発生量が少ないのは、灰を溶融してリサイクルしているため、固化スラグにして路盤材（舗装道路の下層敷き砂）として利用、メタル（鉄、其の他鋼、アルミ等）は、製鋼材料として利用。

4 埋立て処分の状況

三多摩地域の自治体は、単独で処分場を設置することが困難な事から、自治法に定められている事務組合として日の出町に、昭和 59 年に谷戸沢処分場を開設。以来現在の二ツ塚処分場に至るまで 25 市 1 町の不燃ごみや焼却灰等の埋立てを共同で処理を行っている。

平成 16 年度末で埋立容量 370 万 m³ の 39% が埋立てられた。ここ数年関係自治体や市民の協力で、前年度を下回る搬入量の削減を実現することが出来た。前年比を大巾に削減した自治体の理由は、プラスチック系ごみの焼却に踏み切った、容器包装リサイクル法に基づくペットボトル等の分別収集、戸別収集や有料化を行ったこと等があげられる。

5 ごみ減量とリサイクルの推進

再利用できるごみを分別収集し、ごみの減量に向けてそれぞれの地域に合った、独自の手法で実施したのが始まりであった。平成 3 年に国は、ごみの減量リサイクルに向けた「再資源の利用の促進に関する法律」（後に資源有効利用促進法として改正）を制定し、ごみリサイクルが、法律により初めて全国規模で統一された事業としてスタートした。平成 10 年から 12 年にかけて、リサイクル基本法としての循環型社会形成推進基本法や、個別リサイクル法として容器包装に係わる分別収集及び再商品化の促進等に関する法律等を制定し、リサイクルの法整備を行った。

関係者の役割として 消費者に分別排出 事業者には再商品化 市町村には分別収集が、それぞれの責任として求められた。また、平成 12 年制定の循環型社会形成基本法では、特に生産者が自ら生産する製品は、使用後に廃棄物になった後まで、一定の責任を負う「拡大生産者責任」が確立された。環境法上画期的なことである。しかし、現実には費用負担や作業負担の面で、事業者負担に比べ、収集を担当する自治体の負担は、リサイクルを進めれば進めるほど過大になる。このことは、将来に向けての大きな課題で、法制面での改革が求められる。

(1) ごみ減量、リサイクルの実績

資源集団回収は S55 年市内二地区をモデル地区にして、新聞紙、空きビン、雑誌、ダンボール、紙パック、布類、雑ビン、アルミ缶等の集団回収でごみ減量効果をあげ、S61 年から住民団体等が実施する資源集団回収に対し、回収量に応じ補助金を交付。

空きビン回収 H13 年 3,766 t H14 年 3,808 t H15 年 3,820 t H16 年 4,130 t 回収。

古紙分別回収 H13 年 10,054 t H14 年 9,435 t H15 年 9,721 t H16 年 14,867 t

(2) 資源化量及び資源化率

総資源化量は H12 年 39,879 トン、総資源化率 19.2% であったものが、H16 年には 47,960 トン総資源化率 24.3% まで向上した。

* 総資源化率 = 資源分別回収 + 中間処理後の資源化 + 資源集団回収 / 収集ごみ + 持込ごみ + 資源分別回収 + 資源集団回収

6 ごみ指定収集袋制度（有料化）の実施

ごみ減量と資源化を図るための取り組みは、平成2年の空きビン回収に始まり、段階的に拡充してきたが、ごみが減らない状況であった。一方では、ごみ埋立地の利用が進み、新たな処分場の確保が困難な状況のため、ごみを減量し、有効な資源化を図ることが急務となった。そこで平成16年10月から指定収集袋で有料化の実施、個別収集、資源物回収の拡充の3制度を同時に実施、「紙類の資源化」「プラスチック類の分別」「生ごみの減量」の三つの取り組みを定め、重点的に実施するよう市民に働きかけた。

質疑応答

1. 今、補償などで問題になっているアスベストは、どのように処理されるのか？
A 飛散性のアスベストは、特別産業廃棄物として、コンクリートで固めて地中に埋設している。
2. ペットボトルとプラスチックトレイは、分別回収されているが、他のプラスチック類は不燃ごみとして処理されているのは？
A ペットボトルは、有価物として業者に引き取られている。ペットボトル以外のプラスチック類は、原料も多種類に亘り、これを分別するのは不可能である。又、プラスチック類を焼却処分している市もあるが、焼却の際に高熱を発生するため、高温焼却炉でないと焼却出来ないなどの問題がある。
民間では、既にプラスチックを燃料に発電施設を運転している所もある。八王子市は、現状のごみ問題の中で一番大きな課題として、今検討中のごみ処理基本計画の中で方針を決めるとの事。
3. 八王子市のごみ処理関係の人員は減っているのか？
A 大幅に減少している。（百人単位で減少）現状は各清掃工場を含めて600人以下である。
4. 個別収集が良いのか？ 袋とダストボックスは、どちらが良いか？
A ダストボックスは、常時ごみ出しができる利便さはあるが、定められた収集日にごみだしをする個別収集やごみ袋に比べ、衛生面やモラル面で問題がある。
5. 缶類で、残存物やタバコ類が入っているのは、問題がないか？
A 市では、空き缶や空きビンについて、軽くすすいで出すように、お知らせしている。

（記録 山崎修司）

『渡来神の不思議な伝説』

話をする人：荒 正勝

司 会 者：浅輪豊治

話をする人：八王子の郊外で育つ。企業人として 43 年間、経済活動一筋に生きてきた。今は花を愛で絵を描き歴史を勉強しながら暮らしている。

古事記、日本書紀に記された奇妙な伝説、逃げた女神を追って日本に渡来したアメノヒボコ、ツノガアラシトの 2 神。その移動経路、持参した宝物から渡来の真実を探る。

逃げた女神は、母が日光に感精して生まれた太陽の子。アカル姫といい大分と大阪の姫島でヒメコソ神として祀られた。

アメノヒボコは新羅の王子と称して渡来し神宝を献上する。玉、刀、矛、鏡、ヒモロギ（祭祀具）など、三種の神器に相当するもの。

渡来経路は姫路、難波（大阪）から近江、若狭を経て但馬（兵庫の出石）へ行き、そこに留まって後代に活躍するタジマモリ、神功皇后の母親などの子孫を残す。

ツノガアラシトは大加羅の王子、船で下関から出雲を経て敦賀に留まった。この王子も国にいたとき、ある村に祀られていた神石を手に入れると、それが美しい女神になった。結婚しようと思っていたのに女神は逃げてしまい、難波のヒメコソ神社の神となった。

このヒボコとアラシト、話の類似から 2 人は同一の神と判断された。

さらにヒボコは日矛の字義から太陽神の依代としての矛と解釈され、しかもヒボコは兵主神社に多く祭られていることから、中国の兵主神と考えられている。

一方、アラシトは「額に角がある人」という伝説のイメージから、中国の兵器生産の神、シュウとも判定された。シュウは銅の頭と鉄の額、耳ぎわの毛はツルギやホコのように鋭い神。ここでもヒボコとアラシトは特徴が一致する。鉄鉱石を食べ物とする神の足跡からは、古代の製鉄遺跡が発見され、この 2 神は銅や鉄の精錬技術を持った集団が信仰していた神であろうと推定された。

敦賀市に渡来したアラシト神を祭る気比神宮には角鹿神社があってツノガアラシトを祭るとしており、気比神宮にはアメノヒボコの分身であるイササワケの命を祀っている。石川県に目を向けると気比神社、アラカヒコ神社、ミマナヒコ神社、コマシヒコ神社など渡来神が鎮座していて多数の渡来あったことが知れる。

日本海を西に向かうと豊岡市、特に出石を中心に出石神社、気比神社などヒボコに関わる神社が 19 社もある。

ここでのヒボコの業績は昔、泥海、湿地帯であった豊岡盆地を、大規模な干拓工事で、優良な水田地帯に変えたこと。背後の山地で鉱山を開発し、金属精錬事業を行ったことなど、あらゆる事業がヒボコのおかげで成功し民に恩恵をもたらしたとされている。

城崎町の近くで出土した気比の 4 個の銅鐸は、出雲で発見された加茂岩倉銅鐸のうちの 2 個と同じ鑄型で造られたこと、また別の銅鐸は大阪で出土した鑄型で造られたことなど分かり、ヒボコの渡来地である琵琶湖東岸地域の豪族（安氏）との関わり交流などが明らかになった。

出石の袴狭遺跡で発掘された長さ 1m ほどの板には、櫂を使って航海する古代の船の絵が 16 艘ほど線刻されていた。この板は 4 世紀初めのものとされ、ヒボコが船団を組んで日本海沿岸から朝鮮半島まで航行していたことの証拠となった。

ヒボコの持参した宝物に浪振るヒレ、浪切るヒレなど巫女が肩に掛けて使うスカ - フがある。ヒボコの神妻であるヒメコソ神はこのヒレを使って航海の安全を祈ったに違いない。

ヒボコの墓と想像されている入佐山3号墳、これは4世紀の古墳というが、遺体頭部に砂鉄が沢山置かれていた。ということはこの近くで4世紀に製鉄を行っていたことになる。

ヒボコはそれら集団が生産した製品を自分の船団を使い日本各地へ運ぶ物流ルートも確立していたことは間違いないであろう。

九州北部の前原、福岡、香春、宇佐、本州の下関、呉、広島、岡山、総社、姫路、洲本、大阪、桜井、草津、竜王など各地にヒボコの関係する神社や遺跡があるが、これが生産と物流ルートの拠点であろう。

このような広い地域での活動を考えると、日本海側を移動してきたアラシト集団と、北九州から瀬戸内海地方を移動したヒボコ集団とがあって、それらの人たちが築いた拠点に、次々に後続の渡来人を受け入れて開拓を進めていった集団であったことが推測される。

しかも時代は大和国が成立する前の一番重要な時期に新技術、新文化をもって渡来し、西日本各地を開発し、金属製品を生産し貢献した集団であったと考えられる。

(記録 藤野 豊)

想いで映画、その音楽（１）『哀愁』

話をする人：立川富美代

話をする人：平原 俊彦

話をする人：立川富美代 服飾関係会社経営、八王子フィルハーモニー合唱団団長、ガールスカウト八王子連合会長、最近では国際文化交流事業の推進にも努力

平原 俊彦 日本コロムビア（株）計画部長、洋楽部長、文芸部長、その後理事、レコード国際本部長等を歴任、平成6年退任

今回は初めての試みとして二人一組になって掲題対象映画の選択、そしてその映画にまつわるいろいろなお話、更にはその中で演奏される音楽の選別およびその解説などを上記2名がそれぞれ担当した。

取り上げた映画は前編には悲恋物語の典型としての『哀愁』、後編には楽しいミュージカルを映画化した『南太平洋』の二編である。

第一日目（前編） 『哀愁』

1. 制作：1950年（昭和15年）日本配給 昭和25年

2. 監督；マービン・ルロイ

3. 主演；ビビアン・リー、ロバート・テイラー

4. 梗概

ハリウッドの代表的恋愛映画として誰からも愛されている古典的作品。

舞台は第一次世界大戦下のロンドン。西部戦線に向かう貴族の青年将校とバレエの踊り子との悲しい恋を描いている。日本では先の戦争のあと封切られ、多くの人たちの涙をさそった。

なおこの映画の原作は何度もピューリッツァー賞を受賞しているロバート・シャーウッドの舞台劇でこの映画は二度目映画化である。原題は「ウォータールー橋」と言うのはこの橋の上で彼女が死んだから。

5. 主題曲「別れのワルツ」について

この映画にはいろいろな曲が挿入されている。中でも印象的なのは「別れのワルツ」である。元はご存知「蛍の光」だがこれは四拍子、「別れのワルツ」は三拍子と上手く編曲してある。この曲が演奏されるのは二人が始めて逢った日の夜一緒に行ったナイトクラブ「ローソク亭」(キャンドル・クラブのことか)でのことだが、ろうそくが効果的に使われており大変印象的である。

ただ日本で発売されている「別れのワルツ」はオリジナル・サウンド・トラックではない。当時サウンド・トラックは原盤が存在しなかった。そこで古関裕而がこの映画の封切りにあたり原曲そっくりに編曲し、非常に人気のたかかった巖本真里他が演奏をして大ヒットとなった。

（記録： 平原俊彦）

『サプリメント - くすりと健康 』

話をする人：阿部 和也

司 会 者：山下 安雄

話をする人：佐藤製薬(株)で、研究開発、医薬品製造における良質の水の確保、品質管理及び環境衛生管理を担当、2004 年定年退職。趣味：書道芸術（松本筑峯流破体書） 旅行。

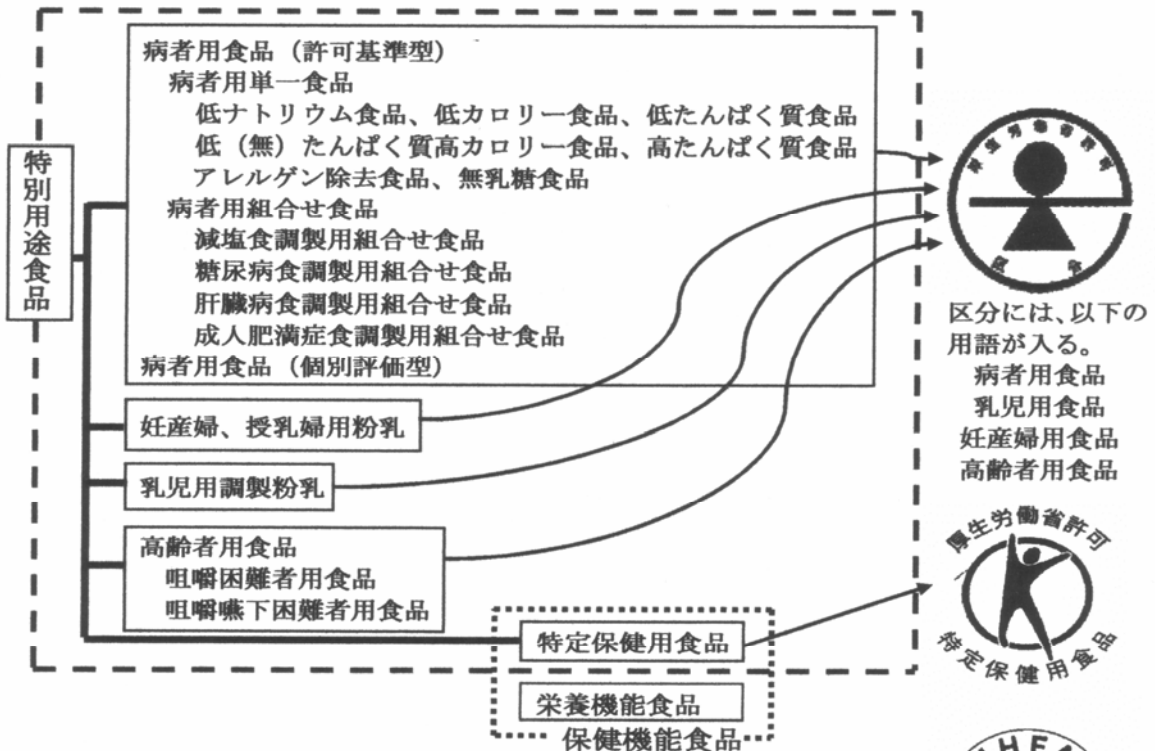
私たち一人ひとりが健康で長生きしたい思いは、古今東西を問わず永遠の願いである。数十年前までは“人生僅か50年”その後、急速な経済成長や食料事情の変化、また疾病構造も感染症から生活習慣病へと大きく変わった。この間、医療関連技術の高度な進歩に伴い“人生80年時代”と世界一の長寿国になった。

これからは健康で長生きしたい願いのために“セルフメディケーション”が大切なことである。すなわち自分の体は自分で養生することである。その為の一つとして、最近話題の健康補助食品、いわゆる健康食品やサプリメントについて、正しい知識と理解をもって、少しでも上手にお付き合いできればと思い、本サロンの主旨内容とした。

なお最近、世界各国で注目されている日本人の主食「日本料理」の重要性とその文化を重んじ、古来の貝原益軒先生の『養生訓』、生き方上手でご存知の「日野原重明先生の思想・哲学」を踏まえて、皆さんと一緒にご歓談したいものである。

1. 健康補助食品、いわゆる健康食品・サプリメントは、主食を補う食品

i) 厚生労働省が表示を許可している食品の種類とマーク



ii) 財団法人 日本健康・栄養食品協会 (JHFA) が認めた食品

いわゆる健康食品・サプリメントのうち品質、規格を保証されたもの



2. 健康食品、サプリメントの基礎知識

- ）必 要 性 不足栄養素の補給のため
 病気になる前に積極的な健康維持、病気予防のため
 病気やけがの治療の補助 例)体の傷の修復には、亜鉛とカルシウムが必要
 3大栄養素を代謝するためには、多めのビタミンやミネラルが必要
 睡眠不足やストレス時に要する副腎皮質ホルモンを体内合成するためには、ビタミンB₂やカルシウムなどのミネラルを補給することが必要
- ）付き合い方 毎日の食事を、1ヶ月くらいの間隔でチェック：毎食の主食、主菜、副菜（野菜）の点検
 あくまでも“食事の補助”あるいは“食事にプラスするもの”
 とくに病気の治療に利用したい場合は、先ず主治医や食品保健指導士に相談、あるいは薬剤師に服薬指導を受ける
 潜在性ビタミン欠乏症（主にVB₁、VC）を気にする場合には、栄養士に相談
 嚥下困難な高齢者や高度な鉄欠乏の妊婦など、特殊な事情の場合には、管理栄養士に相談
- ）心 得 点 目的を自覚せず「体にいい」という理由でサプリメントをとるのは危険、世の中での評価が定まるのを待ってから、実績があり信頼できるメーカーの製品を選択
 ダイエットには、食事の見直し、夜食、間食を控える、サプリメントは邪道
 何種類もの服用は体に害、とくに病気を持っている人は要注意
 高価なサプリメントのうたい文句に振り回されて経済的損失を被らない
 宣伝されている効果 よい面だけを期待するのはまちがいで！
 パッケージや容器に原材料名や成分分析表が表示されない製品などは論外、表示をよく見て吟味し、業者に有効性や安全性に関する資料の要求、問い掛けも大切

3. 健康食品、サプリメントの未来予想

現在市場に出回っているものには、すでに安全性や有効性に疑問がもたれるものが少なくありません。根拠が不十分なものが溢れていけば、必然的に淘汰されるべきものである。今後の研究結果、有効なもの、あるいは適切な利用法が徐々に明らかになり、現在のビタミンC、カルシウム、ローヤルゼリーなどのような、ロングセラー商品の新たな誕生を願いたい。

質疑応答

医薬分業のこと、コエンザイムQ10についてのご質問以外は、水に関する質問が大変多かった。このことは“水は、生命を維持、日常生活のために如何に大切なものか”をあらためて感じた。

資料：サプリメント、「健康・栄養食品」と栄養管理（株）チーム医療（2005年発行）

月刊 栄養と料理 12月号 女子栄養大学出版部（2005年12月1日発行）

養生訓 全現代語訳 貝原益軒著 伊藤友信訳 講談社学術文庫（2005年第41刷発行）

生き方上手 日野原重明著 ユーリーグ（株）（2005年10月25日第18刷発行）

カラー完全版 日本食材百科事典 講談社篇（2004年8月25日第17刷発行）

食品衛生法（平成17年7月26日改正） 栄養改善法（平成11年12月22日改正）

健康増進法（平成17年7月26日改正） 薬事法（平成15年6月11日改正）

（記録 阿部 和也）

パネルディスカッション

魅力ある学園都市に向けて

総合司会 永井 昌平

コーディネーター

大野 聖二 プロバスクラブ初代会長、学園都市文化ふれあい財団理事、元八王子追分町郵便局長、いちよう祭りや地域各種文化団体を創設

パネラー

白柳 和義 八王子市市民活動推進部長 市民との協働事業を担当し学園都市文化課を掌握し、大学と学生・地域との技術・文化面での協働を推進している。

岩崎 公生 杏林大学外国語学部教授、国際観光学担当、帝国ホテルより出向し、学生の意識を高め、大学の地域貢献へのありかたを検討している。

渡真利 紘一 法政大学4年生、八王子学生委員会委員長として、市内にある大学生相互の交流を図り、地域と学生の協働を具体化すべく活躍中である。

趣旨説明 大野聖二

八王子市には、昭和38年以降大学の進出がめざましく、高等専門学校を含め21大学で11万人の学生が学んでいる。大学には様々な学部があり、学生達は未来に向けて様々な研究をしているが、今まで、八王子にはあまりその雰囲気が感じられなかった。この数年来産学官の協働が叫ばれるようになり。大学の知識や、ここで学ぶ学生の成果を地域に還元することが、地域の産業や文化の発展につながると思い、幸い行政でも市民活動推進部を通じ、あるいはサイバーシルクロード等の活動もあって、方向性が伺われるようになりつつある。今日は行政、大学教授、学生と、それぞれを代表する素晴らしい方に来場いただき、それぞれの立場から施策等をお聞きし、市民を代表する皆様方からも質問や提言を頂きたく思います。

最初に、行政の立場から八王子市市民活動推進部の白柳部長からお話しいたします。

基調講話

白柳和義

八王子市の学園都市構想について

八王子市に大学が進出したのは、昭和38年に工学院大学がキャンパスを作ったのがはじまりで、その後各大学が進出した。その中で中央大学が昭和53年に全学部が移転したのがターニングポイントとなった。（この年八王子市大学連絡協議会発足）

当初は八王子市学園都市協議会があり幾人か市民代表が参加していたが、市民組織で取り組みだしたのは「学園都市友の会」だった。その後八王子市や学園都市文化ふれあい財団等が参加し「学園都市推進会議」という形で現在に繋がっている。行政としては、大学が出来たときに取り付け道路を造ることでかなり消極的支援であった。

地方分権が進み権限が地方に委譲されると、都市間競争が激しくなり、都市の魅力を盛り上げるためにも学園都市構想の見直しに積極的に取り組むことになった。

もう一つ、工場制限法が廃止されて、八王子キャンパスをたたんで都心に戻る大学も出ている、加えて、少子化により来たる2007年度には計算上であるが大学の入試希望者と、受け入れ数がほぼ同じになり全入時代が

到来する。このため市としては平成 15 年に大きな組織改革をし、市民活動推進部を作り学園都市文化課を立ち上げ八王子の学園都市づくりに強い意思表示を示した。

このような中で市民が求めている学園都市像、大学の知的財産の活用、産学連携事業、大学講座の市民からの参加と、学生による街の活性化等のニーズに対応すべく、サイバーシルクロードによる産学の協働開発、JR 八王子駅前にある東急スクエアビルで開催している、八王子学園都市大学いちょう塾では市内大学教授や様々な講師による講座には市民が受講できるようになっていて、かなり特色があると思っている。

岩崎公生

私は 2000 年 4 月に帝国ホテルから杏林大学に出向した。現在では国際観光の担任となっている。私たちの八王子が「観光都市としてのまちおこしを」という発想はひょんなことから始まった。私が指導している国際観光学は、ホテルマネジメント、観光学、旅行学であり、2002 年に草津、修善寺、別府、湯布院等、温泉地の調査研究をして、学園祭で発表したが、来場者から「そんな遠くの事を調査研究しているが、どうして君たちのいる地域に目を向けないのか」という指摘を受け、2003 年からこの地域に軸足を置き、他所の地域とこの地域とを比較調査研究することになった。観光都市としてのまちづくりを目指し、よそで見たこと知ったことを、この町の発展につなげたいと思っている。学生に「大事な日に一番大事な人とディナーをしたいと思ったらどこへ行くか」というアンケートしたところ、横浜、お台場、舞浜の順で 4 番目が六本木だった。3 位までは海に面している。八王子には海がない、浅川の水系を活用して、道の駅が出来たらこれと連動すれば新しい観光地が出来る。私が考えているキーワードは二つ、一つは「ウォーターフロント・ルネッサンス」二つめは国際化でグローバル化というより、ローカリゼーションを取り入れた「グロー+カリゼーション」を提唱したい。観光=文化という人も多く、観光立国は云うならば文化立国八王子の場合は文化立市を考えたい。「ものづくり」から「ことづくり」への転換であり、織物で衰退した街を、今後は何を基調とし、考えるべきであろう。

大学による国際文化交流は年々活発化し、海外留学生も増加している。学園都市八王子は将来に亘り文化交流を含めた文化立市を推進し 21 大学の学生を活かすべきであろう。

渡真利紘一

八王子地域には 23 大学等があり、11 万人の学生が学んでいるが、それが街の活性化に繋りきれていない現状にあると思う。私たち学生は地域へ出て活動するきっかけとなる環境が少ないが、多くの学生は地域の魅力を知る機会を求めている、学生が積極的に地域へ出て行き活動に励むことが「学園都市八王子」の魅力の一つと考えている。現在私は就職活動を通じて企業の方々と話をする機会が多く勉強になっている。早くから多くの学生が地元企業へインターンシップや体験学習とかで、地域社会とつきあってゆくことが学生にとって成長の場になると思う。

学生は大学内でいろいろな活動・研究をし、学内で発表することはあるが、それを越えて発表する場が少ない。また、市民も学生が何をしているか見えにくいという現状で、学生と市民の間にまだ大きな差があることを感じている。

地域の魅力にふれるきっかけは、そこに住んでいる市民の存在が大きいのではないだろうか。学生が日頃の活動の成果を発表したいという気持ちと、学生の活動を見たい、あるいは必要としている市民とが繋がることにより、大きな力となることを考える。私は行ったことがないが、フランスの町「モンペリエ」は学生や若い人が多く、住みやすいところと聞いている。学生や若い人が経営する店が多く、たまり場的な場所があり、観光客や勉強する人たちにとって非常に良い所だと聞いている。これは「モンペリエ」の町が学生に好かれ、もっと良くしたいという気持ちが町全体に伝わっているからで、八王子も学生がもっと好きになるきっかけがあればまちづくりに繋がってゆくと思う。

今年、第2回目となる「学生天国」をするが、学生だけではきびしく市や市民の方々の応援を頂いて成果が上がると思っている、学生が街に出たいと思ったとき市民が応援してくだされば、そのきっかけを作る意味で「学生天国」に取り組んでいる。

大野

有難うございました。3人の方がそれぞれの立場でご提案いただきました。今度は皆様からご意見ご提案をお願いいたします。

Q1

企業は常に国際競争力を意識せねばならず、そのために現地の優秀な人材が必要。外国人留学生は数でなく、質をどこまで高めるかがポイントになる。それが日本企業の海外での活動維持に繋がってくると思う。

Q2

地域文化を掘り起こし次世代に繋ぐ運動の一つ「故郷の食を拓く会」に参加しているが、留学生を含めヤングパワーとの交流をと望んでいるが、そのためのネットワークもない。市民と学生との双方向のネットワークづくりといったようなものを検討してもらいたい。

岩崎

国際化について観光の面から見て世界遺産に選ばれたイタリアのアルペロベツ口の町は日本の白川郷と姉妹提携をしている。八王子も日光市、苫小牧市と姉妹都市として提携をしているが、海外の他の都市と提携することにより互いに、学術文化や住民相互の交流が図れるのではないだろうか。

ふるさと食の話があったが、これは大事なことで、若者がハンバーガーをよく食べるがアメリカでは肥満が問題になり、イタリアではスローフード運動が起き、この動きが日本に入ってきている。八王子では八王子らしさ、八王子でなければならない物を探し出すことだ。

白柳

大学や学生にとって魅力あるまちづくりが重要で、これにより都心回帰の流れにも対応すべく何らかの組織を考えている。先日の市長と学生の対話で美術系の学生の発言を元に八王子駅南口の再開発予定地を学生の活動場所に当てることが決まった。国際交流については協働推進部で、現在、中国、韓国の都市を候補に検討している。ほか、協働推進部に国際化推進の部署を置き、具体的な動きを進めている。

渡真利

食文化については、学生の中でも現在、「クッキング ビィ」という学生グループが八王子の歴史を活かすべく、桑をテーマにした料理を作り好評を得ている。

大野

この企画は立場の異なる3人の方により、大学の知性と学生の活力をどう活かすべきか討論を期待したが、時間が少なくなってきたので、どなたかご提案いかがでしょうか？

Q3

いちょう祭り等では、学生が懸命に活動している。しかしまだ八王子では、市民サイドから学生と交流していくという、意識なり実態がまだ育っていないのではと思う。長時間を要するかもしれないが、そういう機運を造成することがこの町の発展に繋がると思う。

大野

貴重なご意見有難うございました。行政は「学生が参加しやすいまちづくり」を進めようという計画。大学側から八王子をテーマにした文化立市を目指そうという提案。学生もこれ等に応答して様々な活動の場を求めていること等、課題と方向性は見えてきた。要はどのように実行するかだと思ふ。また市民がこれらの方達の気持ちを迎え入れる体制を作ることも重要で、残念ながら八王子の商店街の構成は必ずしも学生や若者に喜ばれるようになっていない。安い店、健康的な店、くつろげる店が少ない。また、女子大生の話では、おしゃれ

なセンスのある店があまりない等の意見があり。もっと学園都市にふさわしいまちづくりを進める必要があると思う。熱心にご討議、ご提案ありがとうございました。

(記録 近田 正人)

『わが町八王子のまつり』

話をする人：宮崎 浩平

司会者：松尾信一郎

話をする人：1936年八王子市大横町に生まれ、八王子に育つ。日立クレジット（現日立キャピタル）退職後、郷土史を学ぶ。八王子古文書を探る会、21古文書を読む会、古文書所在調査員。

初めに話し手から八王子のまつりについて「八王子の下、上のまつり」、次に「お十夜」についてお話しして、これを糸口として後半は皆さんと一緒に井戸端会議のように昔を偲びながら話し合い、語りあいたい。

1. 八王子の下、上のまつり

八王子（旧市街地）には八雲神社（天王社）の祭礼『下の祭り』と多賀神社の祭礼『上の祭り』があり、古来より継承され、八王子に住む人たちの生活の一部として深く定着されてきた。

『下の祭り』は元横山町にある八雲神社の7月23～24日の祭礼日を言い、同じ境内にある八幡神社の祭りは9月に行われていた。『上の祭り』は元本郷町にある古い社で多賀神社と云い、鎌倉時代からあって、北条時頼が参拝したとの言い伝えもある。祭礼日は8月15～16日。

祭りの区域は16号線が大横町で甲州街道に別れ南北に通じる線を境に東側を下、西側を上と分けている。私の町は大横町通り（大善寺横町ともいう）にあって、町が上と下に分断されていたので、両方の氏子とされ、1年毎に上と下の祭りに参加していた。それで両社の祭りに詳しくなった。

八王子の祭りは神輿の渡御と山車（曳山）の引き出しで始まる。各町内から多くの山車が曳きだされ、神輿が担がれ、囃子とともに、ご祭礼の堤燈が並び、町全体が祭り一色に化し、大変な賑わいを見せた。

子供の頃、山車を曳いたり、太鼓を叩いたりした祭りの楽しさの思い出は、八王子に生まれ、育った人なら誰しもがもっているのではないだろうか。

2. 八王子の曳山祭の変遷

八王子の宿（シク）ができたのは、天正18年（1590）八王子城が落城した後で、今の元八王子にあった城下の横山、八日市宿、八幡の三宿が甲州街道沿いの現在地に移転して始まった。また八王子権現のご神体が浅川の元横山町イタヤ淵に流れ着き、これを八幡様に奉納したのが天王社である。

承応2年（1653）八幡宮と天王社の社殿が建造され、本宿、新町、横山宿、八日市宿が氏子となり同社の大祭が行われた。天王社の祭神は八王子城の八王子神社の祭神の親に当たる牛頭天王（疫病除け神）と云われている。

宝永4年（1707）天王社大祭に初めて神輿の渡御が行われた。享保13年（1728）寺町が天王社の氏子となる。この頃多賀明神の氏子は八幡宿、横宿、八木宿、久保宿、島の坊宿、本郷宿、本郷村の六宿一村であった。

その後両社とも火災などがあったがそれぞれ再建され、明治10年（1877）頃からは、各町内で現在の屋台の作成が行われた。明治16年（1883）八幡神社、八雲神社（天王社）共に郷社に昇格。多賀神社氏子町でも屋台の建造が伝えられている。明治26年（1893）八王子町は東京府に編入。明治28年（1895）多賀神社も郷社に昇格した。

大正4年（1915）大正大典祭執行。八幡、八雲、多賀神社の合同祭となる。昭和11年（1936）市政十周年記念大祭執行。昭和15年（1940）紀元2600年記念大典が行われ、10月に合同祭を実施。

昭和20年（1945）八王子市空襲により町の80%以上が焼失。このため八幡、八雲神社焼失。戦前20台ほどあっ

た山車も、横山町、新町、八日町等 8 台を焼失。その後逐次社殿、山車など再建され今日に引き継がれている。

3. お十夜の思い出

大善寺の十夜法会は『八王子のお十夜』として、八王子市民に親しまれてきた。私の生まれ育った町内に大善寺があったので人一倍親しさを感じる。毎年 10 月になると子供心に浮きだった。

お十夜には八王子近郊は勿論のこと、関八州から老若男女が数多く集まり、その三日間は町内の通りはお正月の浅草六区の映画街のように賑わった。

大善寺の境内には、大サ - カス（木暮、木下、シバタ、カキヌマ、サクマなど）はじめ、空中サ - カス、犬猿の曲芸等、大小の小屋が五つ、六つと掛かった。道の両端には露天商が並び、映画の寅さんの様な香具師が声を張り上げて呼び込みを行い、人々を笑わせたりと、八王子市民の楽しい行事であった。いまは消えてしまって思い出だけとなった。

大善寺は大横町に一区画をなし、惣門、鐘楼門、仏殿、客殿など有す大寺院。浄土宗観池山往生院と号す。北条氏照を開基として永禄年間に開山し、北条氏が八王子城を築くとその地に移り、天正 18 年落城の時、当寺も兵火に焼かれた。

十夜法会は、この時の戦死者を供養するために始まったもの。サ - カスや見世物を楽しむ祭りではなかったことを、大人になって初めて知った。

この後、名司会のリ - ドで、昔の行事や風習など話題が四方八方に飛び交い、八王子の歴史の理解を深めた。

（記録 荒 正勝）

『CT スキャナの話』

話をする人：吉田 信夫
 司 会 者：下田 泰造

話をする人：東芝に入社、当初は計測事業部にて産業コンピューターシステムの職務に従事、その後、医療機器事業部にてCT スキャナの仕事に従事、CT 事業責任者の職を務める。CT スキャナについては日本でイギリスのEMI 社のCT が普及する段階から携わり、その発展の全過程を経験。医者との交流を通じて、CT に要求される機能や性能を具現化して事業の発展に貢献。

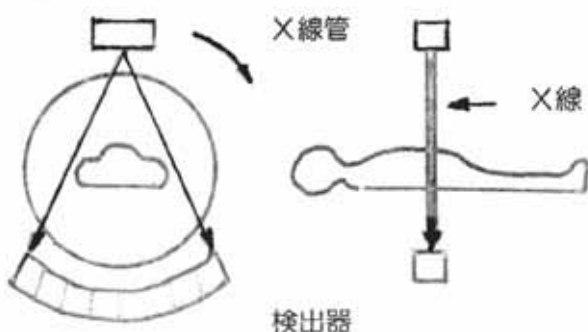
このサロンでは、CT スキャナの進歩の歴史、原理などの話の後、どのような病気の診断に有効か、などにふれた。CT スキャナの進歩は著しく、その診断能力が上がるにつれ、医療機器としての重要性はますます高まった。

1. CT スキャナの歴史

CT スキャナは、英国EMI社が1973年（昭和48年）に開発した。
 当時、頭を解剖しないで、脳梗塞と脳溢血が診断できるとの事で、全世界の病院に急速に普及した。
 開発当初の製品は撮影時間が20秒から1分と長かったが、装置の改良により、撮影時間が短くなり、体の動きのある部位の画質が向上した。
 撮影も1枚の画像撮影から、連続撮影（ヘリカルスキャン）が可能となり、立体画像での臨床診断が有効になった。この装置の開発で、それまで病院に設置されていた従来型のCT はすべて姿を消した。
 検出器が複数列（マルチスライス）になり、1回の撮影で、複数枚の画像が得られ、撮影時間が短縮された。
 最新型のCT では、心臓の冠動脈の診断も出来るようになった。

2. CT スキャナの原理

CT スキャナは、X線を薄い扇子のような形で、人体にあて、減衰量を検出する。この状態で、X線管と検出器を対で、体の周りを1回転させ、その信号を集め、画像を作る。



3. CT スキャナの進歩

CT の進歩は著しい。その概要をまとめた。

撮影時間の短縮

- ・ 撮影時間の短縮は、臓器の動きによる画像のボケをなくした。

これにより、体の動きのない部位から、動きのある部位での診断が有用となってきた。

1973年	1977年	1985年	2000年	2005年
4分	2秒	1秒	0.5秒	0.35秒
頭部	腹部	胸部	心臓	

画像の高画質化

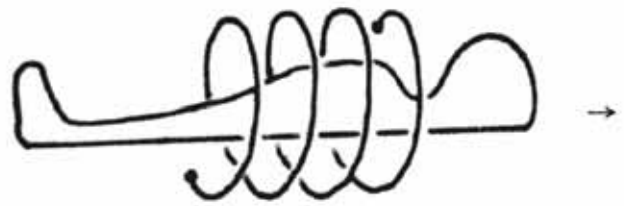
CTの画像の評価は、いかに細かく見えるか、いかに正常な組織と腫瘍などの異常組織とを区別できるか、の2つで決まる。検出器素子が小さくなり、数が増えたこと、X線検出効率のいい半導体検出器の採用により、画質が向上した。

- ・ 空間分解能（身体組織の精細さ）の向上（検出器素子数大）
- ・ 密度分解能（身体組織の判別能力）の向上（半導体検出器）

平面画像から、立体画像へ

当初、画像は1枚ずつしか撮れなかったが、連続撮影と、ヘリカルスキャン方式の開発により、立体画像が撮れるようになった。

- ・ ヘリカル（らせん）スキャン方式による連続撮影（1990年）が開発された。



静止画像から、動画へ

- ・ 連続撮影と撮影時間の短縮により、体の動きを見る事ができるようになった。

シングルスライスからマルチスライスへ

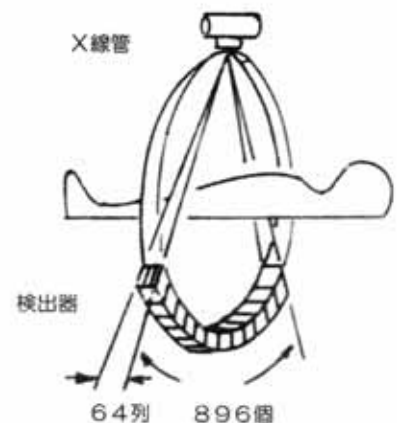
当初検出器は1列であったが、2列、4列、・・・と増え、現在は、64列になった。

- ・ 64列検出器（0.5mm幅）による64画像の同時撮影による立体画像が得られるようになった。
- ・ 撮影時間の短縮とマルチスライスにより、1回の撮影での撮影範囲が広がり、臓器全体の撮影時間が短くなった。
- ・ 検出器が精細になり、0.35mmの立方体の緻密な画像が得られるようになった。

4. CTが有用な病気の診断

装置の進歩により、CT診断での適応が広がった。

- ・ 胸部、腹部臓器の診断
- ・ 心臓を初め、ほとんどの部位での血管造影
- ・ 脳溢血、脳梗塞の診断



5. CTスキャナの今後

これからも、CTスキャナは進歩し、医用診断機器として更に有用になっていく。

- ・ マルチスライスが64から、256へ・・・1回の撮影範囲が広がる。
- ・ 撮影時間が短くなる。

出席者との対話メモ

出席者の中には、CTによる検査を受けた方もあり、CTの性能向上と機種による判別能力の問題、被曝線量の問題あるいはMRI（磁気共鳴画像）検査との違いと両者の特徴等々について熱心な質問と対話が続いた。

（記録 橋本鋼二）

『茶道と茶席の楽しみ』

話をする人：阿部 治子
野口 正久
岩岡 茂之
司 会 者：北川 博孝

話をする人：

阿部治子会員：宗徧流教授；梶井華道会名誉師範；小原流教授；遠州流茶花；読売文化センター八王子講師
野口正久会員：地方史研究家；八王子千人同心旧交會会長；元、八王子市郷土資料館運営協議會会長；同文化財審議委員；同元八王子中学・同二中・同七中の各校長を歴任
岩岡茂之会員：学生時代は慶応義塾大学の野球部マネージャー。その後、東急百貨店の美術部門を長年経験。現在はハワイアンバンド“アナカラ・ハワイアンズ”を結成して演奏活動を行っている

お茶同好会は平成 15 年 3 月に発足し、今日まで丸 3 年、月に一度の例会で、宗徧流教授である阿部治子会員の指導の下、緩やかなペースでお茶の基本・作法などを勉強してきた。茶道とは本当に奥が深い総合芸術であることをつくづく実感した次第。このたび第 10 回生涯学習サロンでの新しい取り組みとして、お茶同好会が「茶道と茶席の楽しみ」との題名でグループ参加することとなった。

茶会は二部構成で、前半の 1 時間は、抹茶のお点前と季節の和菓子をいただき、後半の 1 時間は道具の説明が行われた。

茶会は北川会員の司会で定刻に始まった。前半のお点前は、参加者 35 名が 2 班に分かれ、30 分交代で、和菓子と抹茶を賞味した。その和菓子と抹茶をわれわれ男子会員が作法にのっとり配り、日ごろの研鑽の一部を紹介した。第 2 班も同様にお点前を賞味した後、全参加者が集まり、説明を聞いた。先ず、茶室で一番大切な、床にかける掛け軸、今日は「本来無一物」の説明が、野口正久会員から、配布資料に基づく詳細な説明があった。次いで、阿部治子会員から、茶道と茶席の道具の説明があり、最後に、岩岡茂之会員から、本日使用された、高名な陶芸家の作品の説明があり、質疑応答の後、盛会のうちに茶会を終了した。なお、お手伝いいただいた阿部先生のお弟子さん達に対し、心から感謝する次第。

参考までに本日の茶会の「会記」を付記する。

(記録 矢崎安弘)



会記 プロバス茶の会 平成 18 年 4 月 13 日

床	本来無一物	鵬雲大宗匠
花入	竹	
花	時のもの	
香盒	花筏	橋本徳司
風炉釜		高橋敬典作
棚	宗偏好 胡蝶棚	
風炉先	宗偏好	
水壺	高麗青磁	柳海剛
薄茶盛	四季七宝蒔絵	萬斉造 鵬雲大宗匠書付
茶盃	辰砂	河井寛次郎
替茶盃	春の坂	五代真葛 宮川香斎
替茶盃		浜田庄司
茶杓	奉仕の心 自作	鵬雲大宗匠
蓋置	染付	浅見五祥
建水		廣州窯
御茶	又玄	小山園詰
菓子	舞子	千松園製
器	刷毛目	浅見五祥

『野外で楽しむデジカメ講座』

話をする人：吉田宗昭

(外部アドバイザー)

司会者：矢島一雄

講師略歴 オリンパス(株)カメラ開発部長、その後(株)ABS 代表取締役社長、退任後アサヒカルチャーセンター デジカメ講座講師。現在、NPOテラガーデン デジカメ講座専任講師。プロバスクラブ写真同好会アドバイザー。

講座アシスタント・実習指導 プロバスクラブ写真同好会メンバー
石井寛、下山邦夫、土井俊玄、武田洋一郎、矢島一雄

講座は、矢島会員の司会で定刻に始まった。まず、雨のため野外での開催(昭和記念公園)が中止になり、室内での開催となった経緯の説明があった。

講座は、前半と後半の二部構成で、前半は吉田講師の説明、後半は、室内に準備された被写体(花と静物)を各自で撮影、その後、撮った写真をパソコンへつないでモニターで点検する実習であった。

吉田講師から、花を接写する時の基本知識・操作の説明があった。

マクロ機能を使う(花マークを押す)。デジカメによって接写の距離が違うので、あらかじめ使用説明書でチェックしておく

ピント合わせ。シャッターを半押し、モニターの中の緑色の枠が点滅している間は、ピントが合っていない。点滅から点灯に変わったら全押しする。ファインダーは接写には使えない

ストロボはオフにするときれいに撮れる。たくと影が出来てしまう

手ぶれは避けられないので、三脚を使う。無い場合は硬い所にカメラを押し付けて撮ると良い

野外で撮る時は風に注意する。桜は枝先が風で揺れるので、きれいに撮るのは大変難しい。ピンクの色を出すのも難しいが、朝と夕方に撮ると良い。昼は日光が強く白くなってしまう

講演の後、活発な質疑応答があり、その後撮影の実習に入った。数多くの花がテーブルの上に並べられ、特別に用意されたライトが当てられ、背景には黒布がかけられており、被写体が画面の中で浮き出るよう工夫されていた。我がカメラ同好会の面々は、受講者に懇切丁寧な説明やら指導で大活躍していた。会場は和気藹々のリラックスした雰囲気、受講者の満足度も大変高いように見受けられた。

(記録：矢崎安弘)

『日本の宗教を考える』

話をする人： 近藤 泰雲

司会者： 野口 正久

話をする人：長野県飯田市出身。東京都立高等学校事務長、全国公立学校事務長会の調査・研究・総務の各部長を歴任。退職後仏門に入れ、郷里の増泉寺で住職を務められる傍ら、茶道に造詣が深く茶道を楽しみながら、郷里と八王子での半々の生活をされている。

1. 序 説

ある方が外国に赴任して間もなく、パーティに招待され、その席上で赴任した国の方から「あなたの宗教は？」と聞かれた。彼は「無宗教」とあまり深く考えず答えた。すると、急に態度が変わって、何かよそよそしく、ひそひそ隣の人と話をしていたそうである。その後、仕事の面にも現れて一人前の人として扱われていないように感じた。あとで分かったのは、宗教を持っていない人は、動物と同じで哀れむべき存在と思われていたそうである。

その方がいうのには、私は平均的日本人であって、元旦には初詣に行き、親の法事などきちっと行っている。ただ自分の宗教は？と深く考えてもみなかったと云われた。

2. 日本の宗教史

日本の宗教史をみればご存じのように、用明二年（587年）日本古来の宗教を信奉する物部守屋と崇仏派の蘇我とが戦い、崇仏派が勝って以来、日本人は神と仏を共に敬ってきた。そもそも日本の神様は八百万神といわれるほど、どこにも存在する。山に・大きな木に・川に・池に・家のなかにも台所には火神様・水神様があり、また先祖崇拜の氏神様を祭る。田植が終わると、田圃の畦に小石を立て、野の花を小石の前に生けて、「どうか秋までたんぼの水がなくなりませんように、秋には豊作となりますように」と水神様を祭った。村の鎮守様に五穀豊饒の感謝の秋の大祭を行う。

仏教はネパール・インドから主に農耕民族地帯に広がり、日本には中国・朝鮮を経て伝わった。日本では平安時代から本地垂迹説（ほんじすいじゃくせつ）が起こり、仏や菩薩が衆生を済度するために、神様となって現れるという、神仏合体説がとなえられるようになった。この考え方が起きたのも、一つには日本の神様も仏教の仏様も共に多神教であったことが、神仏合体を容易にした。明治維新の神仏分離に至るまでは、神様と仏様とは一緒に祭られていた寺社が多かった。一般家庭では仏壇と神棚が家庭の中に共に祭られており、「神も仏もこの世にないのか」・「神仏に祈願する」というような日常茶飯事に使う言葉がある程、我が国では神も仏も一緒に存在する。世界でも珍しい国ではないかと思う。

3. 戦後の日本の宗教

仏教も今次の戦争に日本は精神主義を標榜して、鎌倉時代の元寇のように「神風が吹く」とかあるいは「天佑を信ずる」がアメリカ軍の化学兵器に負けた日本人は、「精神主義」イコール「心のありよう」と勘違いして、まさに「この世には神も仏もない」と神仏を敬い、恐れることをも失ってしまった。従って戦前には崇敬されていた神仏があり、恐れるものがあつた。「そんなことをしたらお天道様に叱られるよ」・「お天

道様が見ているよ」・「誰も見ている者がいなくても、天知る・地知る・汝知る・我知る」また「嘘を云ったら地獄の閻魔様に舌を抜かれるよ」とよく子供の頃親から云われた。戦後恐れるものは「税務署」といわれる程に恐れるものがなくなってしまい、拝金主義が横行してしまった。

4. 昔の宗教者と現在

昔、仏教者として活躍した行基菩薩(668~749)は、田園開発・橋梁建設を行いつつ民衆を教化し、また空海(774~835)は讃岐の「満濃池」の建設・お大師さん説話にある全国各地で錫杖を地面についたら水が・温泉が出たといわれる程の伝説豊富。文化面でも超一流。現代社会では、道路や橋の建設は国土交通省・病気は医者に・心の病はカウンセラーに・仏教の研究は学者に・書や絵画は芸術家に、あまつさえ宗教評論家までいる御時世。学者は宗教を単なる学問の一分野と考え仏教理論を・また信仰の対象である仏像を研究の対象にし、評論家は宗教を単なる評論の対象等に各々専門家に分担され、いよいよ僧侶としての役目が狭くなってきた。大多数の僧侶は江戸時代に確立された檀家制度に従って檀家経営に専心。巷には宗教に関する書物の氾濫、カルチャーセンターでの宗教講座の盛況、観光の寺・祈祷の寺の隆盛と共に建物の立派さを競う。しかし現状の日本を見る限り、大人から子供に至るまで人心の荒れていること、毎日の新聞紙上枚挙にいとまがないほど。特に戦前弾圧された有物史観が戦後花を開き「宗教はアヘン」であるとまで云われる時期があった。そのためか有識者に無宗教を標榜する人が多くなり、葬儀も無宗教で、散骨がちょっとブームとなりつつあるように思う。また公立学校での宗教教育の禁止。既存の宗教の活動範囲がどんどん狭まってきた。

5. 本来の日本の宗教

どうしたらよいのだろうか。

何事の おはしますをば 知らねども かたじけなさに 涙こぼる

この歌は西行が伊勢神宮で詠んだといわれる作品。私はこの歌に宗教の根本精神が宿っていると思う。祭られている本尊の何かは分からないけれども、ただ恐れ多く、もったいなく、ありがたく、崇高の念にしばし涙がこぼれてきたという。人間が万物の霊長等と尊大にならず、自然を大切にすると云う考えを一步進め、自然を尊ぶ姿こそ大切。昔から自然の恵みによって育てられた我々。太陽のまた五風十雨の有り難さ、そのような貴い自然の恵みに崇敬と感謝の念が日本古来の先祖から伝えられた宗教である。そこには真実の人類の心が宿っていると思う。

今の世の中はみんな学問もあり、知識も豊富。学問や知識が豊であれば悪いことはしないならば、この世はずばらしい国になっているはず。現実はずしも一致しない。学問・知識・技術はあくまでも手段にすぎない。五歳の童子でも知っている「悪いことはしてはいけないよ、よいことをしなさいよ」とは誰でも知っていること。利休居士のお茶の極意「夏は涼しきよう、冬は暖かきよう」も、云われてみればあたりまえのこと。頭では誰もが知っていること。ただ知っているだけではなく、この単純で、明白な真理を実行すること。この人間としてのこの真理は神道・キリスト教・マホメット教・仏教でもどんな宗派の教えでも同じ。

難しい経典の理論や解釈はともかくとして、せめて今日我が身あるは両親をはじめ先祖のおかげと感謝し、神仏に手を合わせ、自然界の何物にも神仏が宿ることに思いをはせて、自然界の一物一草に至るまでに感謝報恩の念を捧げ、自分の幸せだけではなく、少しでも人様の幸せに役立つような「自分の心のありよう」に

目を向けつつ、日々を過ごすことこそ日本の宗教の原点があると思う。

日本人の平均的仏教徒の姿は、歳の暮れに家中の大掃除をして、神棚・仏壇もきれいに清め、神棚には榊（さかき）やしめ飾りを新しいのに代え、お神酒や鏡餅を供え、仏壇には鏡餅を供えお花を飾り、最後に玄関等に松飾りをする。大晦日（おおみそか）には、一家揃って今年も無事過ごせたことを感謝の念を込めて自宅の神仏にお参りをする。先祖のお墓参りをする方もいる。以前はお寺さんが各家庭の仏壇を暮れに廻ってお参りした。師走の語源もここにある。除夜の鐘を聴きながら、初詣に氏神様や菩提寺に。春秋の彼岸の墓参。お盆には先祖の御霊をお迎え。おじいちゃん・おばあちゃん・お父さん・おかあさん等の亡くなった方々の命日には故人の好きな物を供え、三回忌等の回忌にはお寺さんに来ていただき、お経をあげていただく。兄弟や親戚の方々もお呼びしてお経の後に会食。お施餓鬼にはお寺さんに伺う。毎日ご飯・お水・お茶を神仏に供え、ご近所からのいただき物はまずご仏壇に供える等。これが平均的日本人の宗教感覚であり、宗教的实践かと思う。

冒頭の方もこの程度のごことは日常行っていた由。外国人から「あなたの宗教は？」と聞かれたとき、仏教徒であると自信を持って答えられなかったのは、もしかしたら、「仏教の本旨・真髄・教えとは？」と聞かれたとき、どう答えたらよいか自信がなかったのではなかろうかと思った。たしかに大乘仏經典と聞いただけで気の遠くなるほどの膨大な量の經典。ましてや最澄・空海・法然・親鸞・栄西・道元・日蓮等の祖師方の語録を勉強しようとしたらそれこそ一生かかっても無理、また理解するのは至難の技。多分このような理由で「仏教徒」と自信を持って答えられなかったのではと思った。

お釈迦さまは二十九歳で出家、三十五歳で悟られ、八十歳で入滅された。四十五年間説法の旅を続けられ、行脚しつつ民衆に教えを説かれた。難しい教義を説かれたのではないと思う。

6. 結語

仏教の經典・祖師方の語録は数え切れないほどあるが、煎じ詰めれば「諸悪莫作(しょあくまくさ)衆善奉行(しゅぜんぶぎょう)」の言葉に尽き、それを如何に実践するかである。この教えは世界のどこの国の宗教でも真髄はこの言葉に尽きるし、また我国の仏教の宗派にかぎらず如何なる宗教にも同様のことが言える。

外国人に限らず、人から「あなたの宗教は？」と聞かれたら、堂々と「仏教徒です」と答えていただき、もし「仏教の教えは？」と聞かれたら、即座に「悪いことをしないで、良いことをすること・諸悪莫作、衆善奉行」とお答えいただきたいと思う。ここで大切なことは善悪の判断。古人云う「心を師とせざれ、心の師となれ」と。じっくり味わって下さい。

宗教は、人間が人間として幸せに生きていくための最小限の規範をきめたこと。お釈迦様の基本の教えは何かを今こそ改めて問いつつ、「悉有仏性」あらゆるものに仏が宿っているとのお言葉にも思いを寄せて、お金持ちの日本にはならなくても、せめて世界の人々と仲良く、また世界の人々から信頼される、日本であり、日本人になりたいものと思う。

(記録：近藤泰雲)

想いで映画、その音楽（2）『南太平洋』

話をする人：立川富美代

話をする人：平原 俊彦

話をする人：立川富美代 服飾関係会社経営、八王子フィルハーモニー合唱団団長、ガールスカウト八王子連合会長、最近では国際文化交流事業の推進にも努力。

平原 俊彦 日本コロムビア（株）に入社、計画部長、洋楽部長、文芸部長、その後理事、レコード国際本部長等を歴任。

第二日目（後編）『南太平洋』

1 制作：1958年（昭和33年）日本配給：昭和35年

2 監督：ジョシュア・ローガン

3 主演：ミッチー・ゲイナー、ロッサノ・ブラッツィ、ジョン・カー、ワニタ・ホル

4 梗概

この映画はニューヨーク、ブロードウェイで1955年大ヒットした同名のミュージカルの映画化である。作詞作曲はオスカー・ハマースタイン、リチャード・ロジャースのゴールデン・コンビで、この二人による作品は『オクラホマ』に始まり、『回転木馬』『アニーよ銃を取れ』『南太平洋』『王様と私』『サウンド・オブ・ミュージック』などなどファンならば誰もが知っているものが多い。そんなことでこのコンビはブロードウェイ史上最高にして最強のコンビといわれる所以である。

さて舞台はさきの太平洋戦争のさなか、南太平洋のある島の野戦病院にやってきた従軍看護婦のネリーは、島でゴム園を経営するフランス人と愛し合うこととなる。だが彼がかって現地の女性と結婚し、子供たちまでもうけていることを知り、大変悩む。というのは彼女がアメリカ南部の出身で有色人種に偏見を持っていたからである。

しかし、あることがキッカケで彼女の気持ちも変わり話は将来一緒になることを暗示し『魅惑の宵』の流れる中で映画は終わる

5 このミュージカルはメロディの宝庫といわれ有名な歌がたくさん詰まっている。

中でも

「バリ・ハイ」

「魅惑の宵」

「ア・ワンダフル・ガイ」

「春よりも若く」

「ハッピー・トーク」

などが有名でその他20曲ほどその場面と一緒に楽しんでいただいた。

6 その他

この映画は筋立ても面白く、またユーモラスな面も多くて大変面白い作品であるが、同時に制作された時代にそった厳しい部分もふくんでいる。というのはこの映画が作られた1950年代後期は黒人の民権運動のもっとも盛んなときで、しかも主役の看護婦は運動の中心地アーカンソー州リトルロックと言う伏線がある。

この辺をみるのもこの映画の面白さである。

（記録 平原俊彦）

『ウォーキングを科学する』

話をする人 石田 雅巳

司会者 永井 昌平

話をする人：都立府中病院産婦人科医長、新宿赤十字病院第一産科部長、八王子保健所長を歴任。介護老人保健施設 ハートランド施設長、思春期保健相談士、セックス・セラピスト、日本性科学会セクシュアリティ研究会で活躍。

- 序説 -

・貝原益軒：養生訓 総論 - 本題に係わる節抜粋（現代語訳） -

常に身体を動かしていると、気力と血液とがよく循環し、食物も胸に滞らない。自分に応じた仕事をして手足を働かせることだ。ときには動きときには静かにすれば、気が全身にめぐってとどこおらない。

ときどき運動をし、手足を働かせ、よく歩いて長いあいだ同じ所に座っていないようにすれば、血気がよく巡って滞る心配はない。これも養生の大切な務めである。毎日このようにこころがけるのがよい。

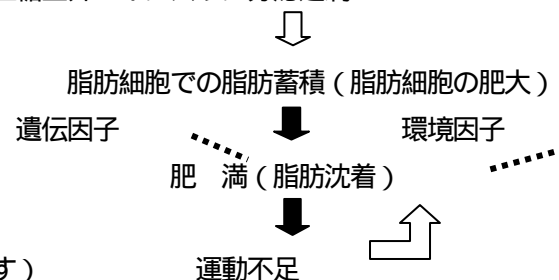
・「ホモサピエンス（考える動物）」として活動的長寿に挑戦すべき！長い人生を、美味しく、有意義に味付けする調味料こそ「健康」である。老いは生あるもの誰も避けられないが、ハッピーエイジングが大切。勇気を出して大切な人生という「時間」を「ウェル・エイジング（豊かな加齢）」に切り換えよう。

病気から近い位置にある「弱い健康」、病気から遠い位置にある「強い健康」...個人の努力が「弱い健康」から「強い健康」へ引き上げる。それには、科学的なプログラムが必要である。

- 本題 -

1. 肥満は諸悪の根源：肥満への道筋

脳（欲求不満） 食欲中枢 食欲増進 食べすぎ 血糖上昇 インスリン分泌過剰



2. 肥るってどういうこと？

) 体重より脂肪を減らせ（筋肉を落とさずに脂肪を落とす）

) 肥満とは 脂肪細胞の増大（増殖型・肥大型）

摂取カロリーが多い これが殆ど、食欲中枢の異常、やけ食いは「心因性」、ホルモン異常。

男性:内臓脂肪(りんご型)、女性:皮下脂肪(洋なし型)。

体脂肪率：体重の男20%以上、女25%以上を肥満、平均的目安：男12～15%、女15～18%。

) 標準体重とBMI (Body Mass Index)

$BMI = \text{体重(kg)} \div \text{身長(m)} \div \text{身長(m)}$ $\text{標準体重(kg)} = \text{身長(m)} \times \text{身長(m)} \times 22$

) 中年肥りはどうして起こる？

脂肪摂取 脂肪細胞は肥大、糖分の摂り過ぎで血中インスリン値増加 脂肪細胞増大 肥満。

) 肥りやすい食生活

早食い・食抜き・特に夕食まとめ食い(コレステロール増加) 野菜や繊維分を食べない(食物繊維は体脂

肪になりやすい糖質や脂肪の吸収抑制作用) 寝る前に食べる、ながら食い・食事のリズム：インスリンは日中には減り、夜間は増える。逆の作用を持つグルカゴンはその反対 朝食はエネルギーになりやすく、夕食は蓄積されやすい。糖分と脂肪の摂り過ぎは絶対駄目！

3. なぜウォーキングがよい？

-) 歩くことは赤ちゃんの時から備わっている人間が生きていくための基礎技術。
-) ウォーキングとジョギングとの比較

	ウォーキング	ジョギング
着地時の足にかかる圧力	体重の1.2~1.5倍	3~4倍
両足	片足が地に着いている(0.7秒)	同時に離れている

4. 痩せるのに最適と言われる理由

「息切れしない程度の運動を長時間続けること」がダイエットのポイント。

5. 体脂肪が落ちて「太りにくい体質」になる

-) 血液循環を良くする。
-) 心肺機能を良くする・最大酸素摂取量も増加 エネルギーの燃焼効率がアップしてスタミナがつく。
-) 運動の種類

無酸素運動(アネロビクス): 相撲・短距離走。短時間で酸素を大量に消費、但し脂肪は使われない。
血中ぶどう糖消費により脳の空腹中枢が刺激され空腹感 食べる。

有酸素運動(エアロビクス): 酸素を使って長時間運動 ウォーキング

初めは糖質が優先的に使われ、脂肪が消費されるまで10分以上かかる。

有酸素運動を続けると、抹消の細胞まで刺激され「基礎代謝量」が増加 「太りにくい体質」になる。

) 研究実績

運動: ストレッチ5分・ウォーキングを最大酸素摂取量の6割の強度で10分・アイソメトリックな筋トレ10分・ストレッチ5分計30分、週5回、3週間。

結果: 基礎代謝量: 平均200~300キロカロリー増加、体脂肪率: 女性 38 32% 男性 28 25%

*300キロカロリー: 45分のジョギング、テニスのシングルス1セット弱、ごはん茶碗2杯弱。

6. 二本の足は二人の医者

-) いつまでも若々しくいられる。人間の筋肉は2/3は下半身にある。老化は足から。
-) 脳を活性化: 取り入れられた酸素の1/3は脳で消費・歩くことで血流がよくなる。ウォーキングは「ぼけ防止」。足を動かすことによる筋肉は脳を覚醒させる。足が駄目になれば脳もだめになる!
-) コレステロール値・血圧が改善・血管も柔軟になる。
歩行 HDLが全身を流れてLDLを吸収し肝臓に運び処理(アネロビク的な運動では駄目)
-) 骨粗鬆症に効果 何故、女性に多い? 最初に減るのは踵、後に腰椎、続いて大腿骨。予防: 食事・運動・日光浴。
-) 基礎代謝率向上

基礎代謝は主に脂肪を分解。加齢・運動不足 脂肪分解低下 肥満 糖尿病・高血圧・動脈硬化など。
警告! 「あくまでもその時点での筋肉量に見合った有酸素運動であること」

-) ストレスを解消する 自律神経の働き。
-) 歩くだけでも疲労は回復する：疲労物質である乳酸の貯留を防ぐ。
歩行姿勢の維持には脊柱起立筋・後背筋 腹部の各筋肉のバランスのよい強化が腰痛を防止する。

7. 「一日一万歩」とは？

-) 一日一万歩 = 300 カロリー 実現には約 2 時間 (= 40 分のジョギング)
-) 研究結果に基づく 3 条件 (運動処方) 10 分以上継続(時間)、週 2 回以上 (頻度) 回数が多ければ効果あり、あんまり頑張りすぎないこと。有酸素運動であること(強度)が最も重要。
-) 正しい歩き方：エア・ウォーク。
背筋を真っ直ぐに伸ばし、おなかを引き締め、あごをひく。目線は常に 10~20 メートル先、肘は直角に曲げ、膝は伸ばして踵から着地、爪先で地面を蹴って進む。
足跡は直線上。速度は自分に合った自然なスピード。歩幅：ピッチ歩行(細かく刻む) ストライド歩行(歩幅を広げる) 足のリズムに合わせて「リズムカルな呼吸」無理・無駄のない「スピードと歩幅」
加齢と歩き方の変化：上り坂は一步一步踏みしめて、下り坂は注意 少し早目がよいが歩き方を間違えると転倒 着地の時にスリップを防ぐ・着地の時の衝撃を吸収・ブレーキをかける。
-) ウォーキングプログラム (自分の状態を知ることから)
(人間の最大心拍数 220) - 年齢) × 0.60~0.80 故に 70 才の人は 90~120 / 分。
* これはあくまで目安！肥満対策では強度より時間を長くする。
最初の目安：額に心地よい汗をかく程度。人間の歩きの速さの限界は時速 7 キロ。
体調の自己診断：ウォーキング(前・中・後)に不快感の有無と程度？ プログラムは？ 準備運動・整理運動はしたか？ ストレッチなどはしたか？ 日常生活はどうか？
-) ウォーキングシューズの選び方：履き心地よいこと、アッパーとボックス部分が柔らかで通気性がよい、ミッドソールとウェッジが厚く抵抗力があること、路面の状態を把握する力にすぐれた靴底のもの。
-) 季節での注意：夏は「水分補給」：熱中症・UV対策・早朝か夕暮れ、帽子・汗の吸収や通気性のよい素材の衣服。頭痛・めまい・脱力感・吐き気など すぐに日陰にはいり水分補給。冬は足元を暖かく。
-) ストレッチと組み合わせる：息を止めない・毎日続ける・はずみをつけてゆっくり・「痛い」の手前で中止。曲げたら 10~30 秒はそのまま、自分で 1 . 2 . . . と声を出して。
-) ウォーキングマップ：前後に地図と出来事を書く、途中の風景や事柄。

8. 「ウォーミングアップとクーリングダウン」

運動で起こる障害の大部分は、配慮が欠けていたために起こる。

-) ウォーミングアップ
安静時から急に主運動にはいると、血液の循環はこれに追いつけず、酸素不足になり血圧が急上昇。
一般には、軽いジョギングで、若い人で 5 分、中年以上で 10 分。
-) クーリングダウン
急に運動を止めると末端の血液は心臓の力だけで戻されることになり、心臓にかなりの負担がかかる。
あるいは、一時的に末端部の鬱血状態になることもある。脈拍が正常状態に近くなるまでは、軽い体操や歩行運動を組み合わせたゆるやかな運動が必要。これは、筋の代謝より生じた乳酸などの疲労物質を速やかに取り除く効果がある。

9. 運動前のチェック（メディカル・チェック）

身体面・総合的健康面から

運動開始にあたり、自分は運動しても大丈夫か？ 運動を始めてから、身体に不調が出たとき、続けてよいか？ 注意を要する事柄（一つでも該当する時は医師や運動の専門家に相談）

) 心臓病があるとき

) 心臓発作の危険因子

糖尿病、高血糖値、高血圧、血中のコレステロールレベルを下げるため食事制限をしているなど。

) その他の危険因子

喘息・肺気腫などの肺疾患がある。関節炎・リュウマチ・痛風など。血中の尿酸レベルが高い。

10. マタニティ・ウォーキング

モデル図とビデオ映像とにより、説明された。

- 質疑応答 -

Q：ウォーキングはいつ頃の時間がよいのか？

A：日差しの強い時や寒い時などは避ける。気候と自分の体調に合わせる。夕方でも結構。日中の発汗が多いときは、日差しを避け、水分を十分補給し、循環器に影響を及ぼすことのないよう注意する。

本サロンは、とくに中高年における健康維持の一環として、諸悪の根源“肥満”対策について、最近のジョギングからウォーキングへの指向を取り上げ、スポーツ医学を織り込んだ大変有意義なお話であった。

（記録 阿部 和也）

第 10 回野外サロン

平成 18 年 5 月 11 日

「山梨の歴史と文化を訪ねて」のテーマで、一般会員 36 名、プロバス会員 42 名が、7 時 45 分に八王子駅南口に集合、2 台のバスに分乗、予定通り 8 時に出発、研修に入る。

出発後、地域奉仕委員より（2 号車は矢島、吉田の両委員）本日の行程、の説明あり

行程： JR 八王子駅南口出発（8：00）～談合坂 SA 休憩～甲府昭和 IC～山梨県立文学館・美術館見学～昼食・郷土料理店・「奈良田」～山梨県立博物館～メルシャン勝沼ワイナリー～勝沼 IC～談合坂～JR 八王子南口（17：40）

以下行程に従い説明する。最初の訪問先は、四季折々の樹木や花が見られ、野鳥が飛び交う「芸術の森公園」の中にある山梨県立文学館、美術館。

1. 山梨県立文学館

学芸委員の説明のあと、オリエンテーションコーナーを過ぎ、山梨ゆかりの作家と作品の最初が樋口一葉の展示品、「たけくらべ」の直筆原稿、和歌短冊の屏風等、一葉の美しい筆跡を観る。その他、井伏鱒二、太宰治、山本周五郎、中里介山等多くの有名作家の展示品に見入った。同館の最大のコレクションは、芥川龍之介の幼年期から晩年までの資料があり、其の生涯と文学を辿ている。「羅生門」「鼻」の草稿、漱石からの書簡、「水虎晩帰之図」は我鬼山人の銘があった。近代俳句を代表する山梨出身の飯田蛇笏の句「芋の露連山影を正しうす」他、書幅や短冊等、また主幹誌「雲母」などと、牧水の書簡など交友関係を紹介。

2. 山梨県立美術館

「ミレーの美術館」として知られる、美術館は 1978 年開館、04 年南館増設。

「種をまく人」「落ち穂拾い・夏」他デッサン、版画等、明治から日本人に親しまれたミレー。また同時代のコロアの「大農園」クールベの作品。バルビゾン派のルソー、ドービニー、その他シャガール、日本の藤田嗣治、梅原隆三郎と国内外の様々な優れた作品があり、時間が無いのが残念。

萩原英雄コレクション室。戦後の版画界をリードした萩原氏の優れた作品と氏が長年収集した、縄文土器から 20 世紀の版画まで 4 千点を超える作品の寄贈うけた展示室。

また、公園内にロダン、岡本太郎他内外の近現代彫刻の巨匠達の作品が設置されている。

3. 昼食

郷土料理の「奈良田」で「ほうとう」「そば」のどちらかを選択し、全員 1 室で美味しく頂き、山梨の食文化を楽しむ。

4 . 山梨県立博物館

甲府市を離れ石和温泉駅近くにある、昨年 10 月オープンの新しい博物館。「山梨の自然と人」を基本テーマに、山梨特有の歴史、文化や産業などを自然との関わりの中で紹介していた。

今回の特別展は、「よみがえる武田信玄の世界」をテーマに、山梨の歴史上最も著名な人物であり、戦国時代の代表的な人物の一人である武田信玄を展示。現存の古文書、絵画、武具などから、信玄の実像

に迫っていた。

常設展示エリアには、山梨の地形を一望でき、シンボル展示では、国宝や重文などがあり、其の他に鑑賞、学習型展示、体験型展示等、工夫された博物館である。

5.メルシャン勝沼ワイナリー

日本で最初にワイン醸造を始めた、生産量日本一のワイナリー。醸造器具、タンクや樽での育成、熟成庫等ワイン作りの工程を見学。

明治の醸造家が活躍したワイン資料館（県の重要文化財）では、創世記の醸造器具、文献等から日本のワイン作りの歴史に触れた。現在も樽貯蔵庫として利用されている地下で、ワインが熟成の眠りについていた。

最後にテイステイングサロンで、各種ワインをテイステイングして、各人好みのワインを土産に購入していた。

以上、「山梨の歴史と文化」を十分に堪能し、八王子南口に17時40分帰着。

（記録 山崎 修司）



山梨県立美術館前にて

閉講式・さよならパーティ

日時： 5月25日 14:30～19:00

会場： 八王子エルシィ

出席者： サロン会員 50名 プロバス会員 53名

『閉講式』

閉講式は永井昌平地域奉仕委員長の司会、挨拶により開会した。

大野聖二会長挨拶

本日で第10回プロバス生涯学習サロンは全課程が修了いたします。今回も熱心にご参加いただき有り難うございました。10年前、プロバスクラブが設立されましたが、その時の会員を拝見して素晴らしい方ばかりなのでこれらの方の知識と経験更に人柄を八王子の人達にお伝えすることが当面の義務ではないかと思ひ、そのころ大手マスコミが生涯学習に取り組み始めていましたが、企業的ではなく心を通い合わせられるような勉強会をしたいと思ひ、提案したのがゼミナール方式で双方向で勉強でき、誰でも参加しやすい、かつ一寸おしゃれな生涯学習サロンでした。幸い60名を超える方がお申し込み下さって、最初から参加して下さっている方も大勢いらっしゃいます。ここまで継続できたのは、参加して下さる方はもちろん歴代担当者が変わっても毎回工夫を重ねて継続して下さったプロバス会員の努力もあったことと感謝いたします。今 藤原正彦氏の「国家の品格」が話題になっています。続発する弱い人達への犯罪、は視聴率本意のマスコミ、特にテレビの低俗番組の影響が多いと、日本テレビの菱山さんの講座で痛感されたと思ひますし、世界に誇る伝統文化である歌舞伎の見方等についてもこのサロンで勉強したことを思ひ出します。また格差拡大による弱肉強食の風潮等に対しても、私達のモラルを見つめ直し「地域の品格」を高めるべくお役に立ちたいと思ひています。

来賓の挨拶

・八王子教育委員会生涯学習スポ - ツ部長 菊谷 文男様挨拶

出張中の市長の代わりにご挨拶に参りました。2月23日から始まり本日このように盛大に八王子プロバスクラブ生涯学習サロンの閉講式を迎えられた事をお喜び申し上げます。テーマである「学ぼう、語ろう、広げよう」も、とても理想的だと思います。本クラブの益々のご発展、ご活躍そして皆様のご健康をお祈りいたします。

・神奈川ロータリークラブ 山室 宗作様

日本一の八王子プロバスクラブの活動を勉強させて頂きたく参りました。シルクロード絹の道で結ばれた仲です。どうぞよろしくお祈りいたします。

参加者代表 土井 光子様挨拶

こちらのサロンは、知的でレベルの高い内容をお持ちの会員の方々なので、毎回の魅力あるテーマの中でどれを選ぼうかしらと大変苦勞を致しましたが、とても良い勉強を致しました。野外サロンは大野会長先生のガイドで楽しく過ごさせて頂きました。

生涯サロンは人との和も広がって本当に楽しみです。来年もまた皆で、このサロンに参加出来ます事を期待しております。

(記録 阿部幸子)

『閉講のことば』

副会長：濱野 幸雄

第10回生涯学習サロンは本日をもちまして無事終わる事ができました。今回は朝日新聞、読売新聞が取り上げ報道したこともあり、新しい参加者が増えました。延べ723名、出席率は93.6%と高く皆様方の熱意に主催側としては非常に嬉しく喜んでおります。

今年も4テーマから一つを選んでいただく方法にこだわりました。学習は発言の機会があるということによって、さらに効果が上がると信じています。それによって双方向の会話ができることがサロンであり良いと思えます。内容も特別講話をはじめ新しい趣向を加えて行いました。たくさんの方々がそれぞれの講座に興味を示して下さいたことをうれしく、感謝いたしております。

来年は新しい企画、新しいテーマで再出発したいと思います。皆様方の変わらぬご声援をいただき、来年もまたこの場でお会いできることを楽しみにしております。

ご後援を賜った八王子市、八王子市教育委員会、東京八王子南ロータリークラブ、そして参加して頂いた皆様とプロバスクラブ会員にお礼と感謝を申し上げます。

『さよならパーティ』

矢島一雄会員の司会で開会し、第9代会長大高秀夫会員の音頭で乾杯し、「わが青春のグループ・サウンズ」と題し三軒茶屋ブルーシャトウの演奏する懐かしい曲の数々を聴きながら、和やかにパーティを楽しんだ。



(記録 阿部幸子)

【特別講話】

『八王子の地形と気象』

講師： 八王子気象の会代表 原島 宏昌氏

司会： 永井 昌平

講師略歴

昭和 24 年 八王子市立第 4 中学校教諭(理科)、昭和 32 年 同校で気象観測を開始、昭和 42 年 同校で気象庁八王子観測所としての委託業務を開始。昭和 57 年 同校教諭を退職後、八王子市気象観測室の業務を受託。昭和 58 年から八王子市天気相談所の業務を受託現在に至る。

1 八王子の地形

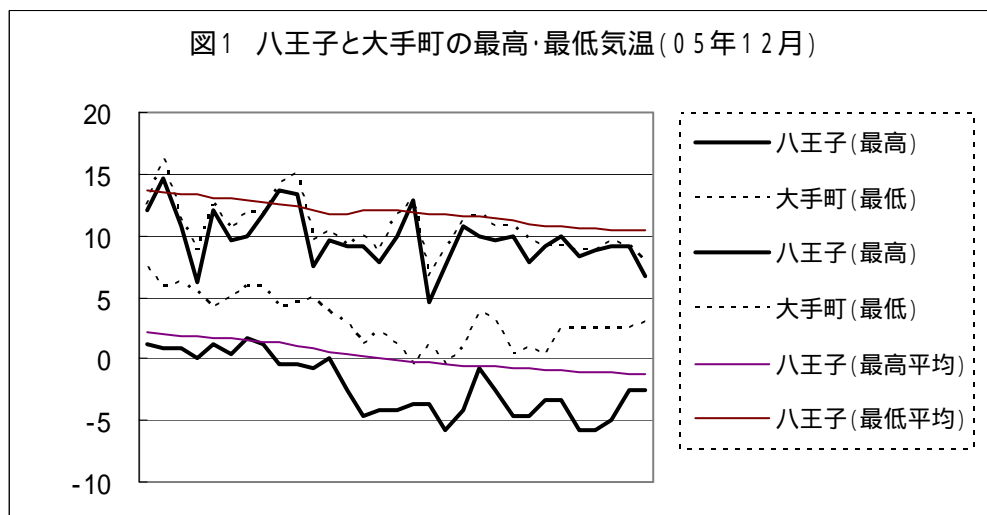
東京湾、相模湾からおよそ 40km 内陸に入り、西にかなり高い山をひかえ、南北には東西に走る丘陵に囲まれた盆地で、南西方向に 1500 メートル級の丹沢山地がある。

2 八王子の気温の特徴

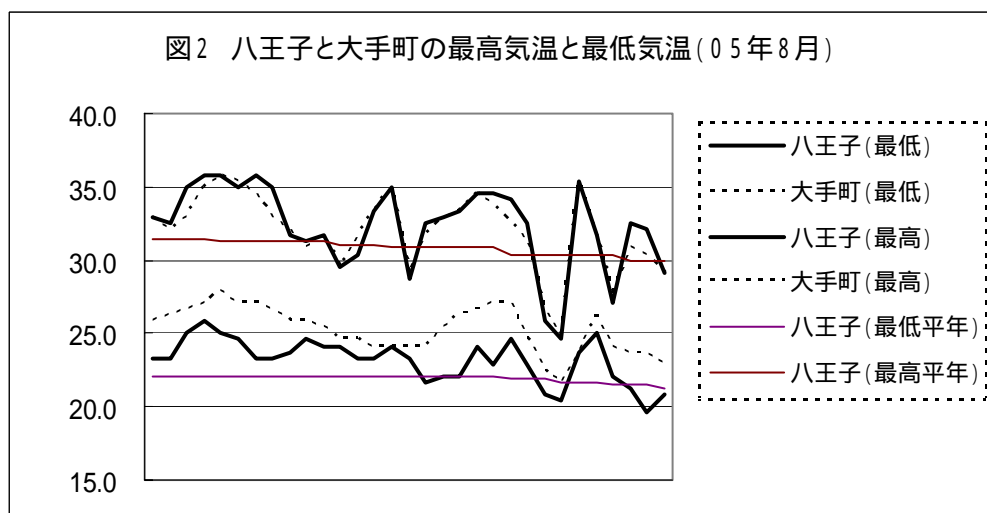
1) 気象庁(大手町)との比較

東京都心に位置する気象庁(大手町)の最高気温と最低気温を比較したのが図1(冬)、および図2(夏)である。

冬：平成 17 年 12 月の観測値では、最低気温の平均が大手町 2.9 に対して八王子 -2.5 とその差 5.4、最高気温の平均は大手町 10.2、八王子 9.4 でその差は 0.8 であった。冬の最低気温の違いは大きく、いつも 5~6 の差がある。最高気温の差は少ないが八王子の方がやや低い。



夏：平成 17 年 8 月の観測値では、最低気温の平均が大手町 25.1 に対して八王子 23.0 とその差は 2.1 なのに、最高気温の平均は大手町 31.8、八王子 32.0 でその差は 0.2 であった。夏の最低気温の差は冬より小さく最高気温の差はほとんどな

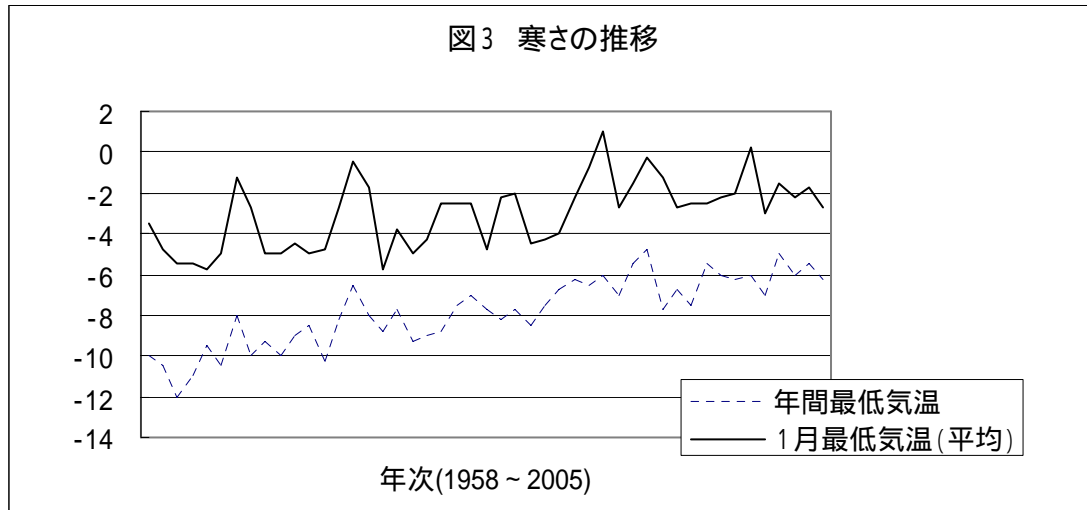


い。最低気温が 25 以上の熱帯夜の平均日数を大手町と比較(1991~2000 平均)すると、大手町 30 回に対して八王子は 3 回と涼しい。

23 区より冷えるが昼間の気温差はそれほどない。暑くて寒い八王子というイメージを少し変えていただきたい。

2) 50 年のデータで見る八王子の寒さ

1 月の月平均最低気温と年間の最低気温の推移を図 3 に示した。寒さがゆるみ、上昇傾向にある。1970 年を境に -10 以下に下がることがなくなっている。



3) 市内の最低気温の差

市内でも地域によって冷え方が違う。八王子駅周辺が高い。周辺地域で川の流れているところは低い。土地の低いところは明け方低くなる。周辺地域でも温度の高いところがある。周りより高いところは冷えない。恩方宝生寺団地、都営八王子霊園(船田丘陵)、小比企丘陵、多摩丘陵等々である。

冷たい空気は重い。八王子は風が弱いので、冷やされた空気が低いところに溜まる。少し高いところはそれほど冷えない。風が強いと低いところと高いところの空気が混ざってしまうのでそれほど冷えない。

3 八王子の雨と風

1) 台風

台風の進路の右側(東側)は左側(西側)より強い風が吹く。9月の台風より7月の台風の方がこのコースを取りやすいので、八王子で強い風が吹くことが多い。南東からの湿った風が吹き続けている間は西の山にぶつかって雲が発達し、山に近いところは雨が多くなるので、山沿いは注意が必要である。

2) 雷雨

八王子市の雷雨の多くは奥秩父で発生し多摩川沿いを進み、市域の北部などに 30 分ほど雨を降らせるものが多かったが、近年は様子が変わり南に寄ってきた。八王子で発生したものもある。

3) いろいろな風

八王子は風の弱いところであるが、南の風は周辺他地域より強く吹くことがある。また、北高型の気圧配置となると南関東は天気悪い。北東風(東風)で関東地方は雲が出来やすい。笹子トンネルを抜け山梨に入ると晴れということがある。(1000m 級の山で雲が行かない)

八王子でとんでもない高い気温が出ることがたまにある。1984 年 9 月 3 日には 39.4 度を記録している。これはフェーン現象によるもので、南西の強い風が吹いたときに起こる。(湿った風が 1500m ある丹沢山地に吹き上がり 100m で 0.6 ずつ下がり、山を越えて乾いた風が吹き降り 100m で 1 ずつ上がる)。

真冬でも日本海に低気圧があるとき南西の風が吹き温度が上がる。年に数回程度はある。風が止むとまた冷える。

質疑から

Q 近年、暖かくなっている理由は？

A 地球温暖化だけではなく、八王子の都市化が進み、放熱量が多くなっていることも一因と思われる。

(記録・文責 橋本鋼二)